RICOH

IPSiO NX810

セットアップガイド

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「使用説明書<取り扱い編>『安全上のご注意』」をお読みください。

商標

- EPSON，ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- EtherTalk，Macintosh，TrueTypeは、米国Apple Computer,Inc.の各国での登録商標です。
- IBM，DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft，Windows，Windows NT，MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWareは、米国Novell,Inc.の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ，PC-9800シリーズ，PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PC-PR201Hシリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 3.1の製品名は、Microsoft® Windows® 3.1です。
* Windows® 2000 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows NT® Server 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0
* Windows NT® 3.51の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows NT® Server 3.51
Microsoft® Windows NT® Workstation 3.51

目次

1. 設置と接続

2. 印刷するための準備をする

1. 設置と接続

同梱品を確認する

1 同梱品がそろっていることを確認します。

不足品や不具合があった場合は、購入された販売店までご連絡してください。

☑ ＜セットアップガイド＞（本書）

☐ 使用説明書＜取り扱い編＞

☐ 使用説明書＜イーサネットボード＞

☐ CD-ROM

☐ トナー

☐ コア

☐ 保守契約書

☐ リコー製品サービス窓口一覧

☐ マイバンク＆QA登録票

☐ お客様登録はがき、（仮）保証書

☐ IPSiO コールセンターシール

☐ リコープリンタードライバーフロッピーディスク版申し込みについて

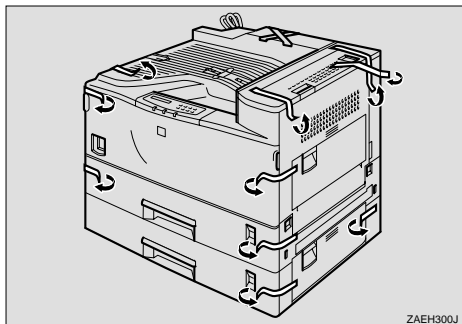
☐ 給紙段数表示デカル

☐ ISDN回線使用時の注意

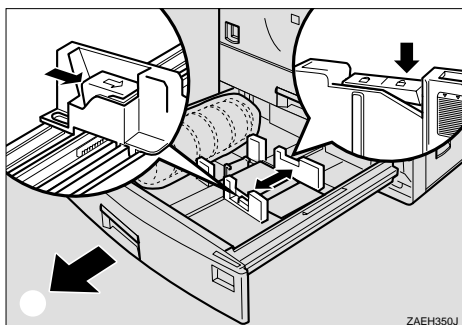
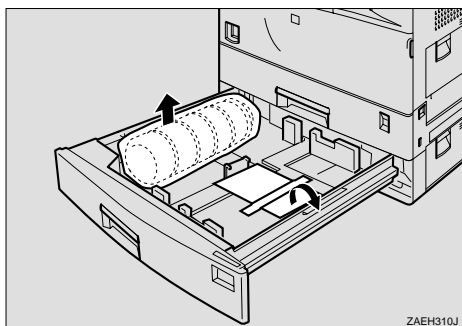
補足

❒ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについてはP.44「プリンターを接続する」を参照してください。

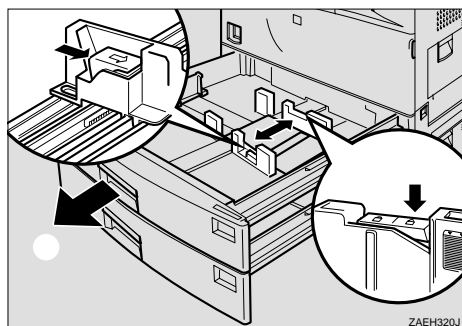
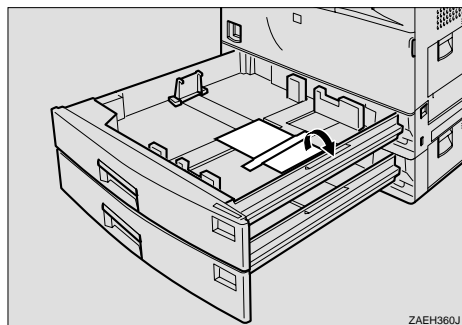
プリンター本体の準備をする

1 固定用のテープを取り除きます。

補足

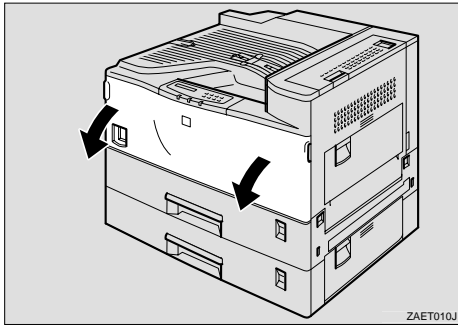
❒ オプションの給紙テーブルや専用テーブルを取り付ける場合は、電源ケーブルを固定しているテープは取り除かないでください。

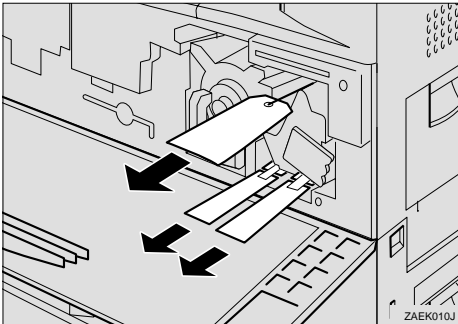
2 トレイ２を引き出し（①)、サイドフェンスの固定レバーを解除してから（②)、解除レバーをおさえながらサイドフェンスを広げます（③)。

3 トナーを取り出して、固定用のテープを取り除きます。

補足

❒ 取り出したトナーは、トナーホルダーにセットします。操作方法は、P.35「トナーをセットする」を参照してください。

4 トレイ１を引き出し（①)、サイドフェンスの固定レバーを解除してから（②)、解除レバーをおさえながらサイドフェンスを広げます（③)。

5 固定用のテープを取り除きます。

6 トレイ１、トレイ２を奥に突当たるまで静かにセットします。

7 **前カバーを開けます。**

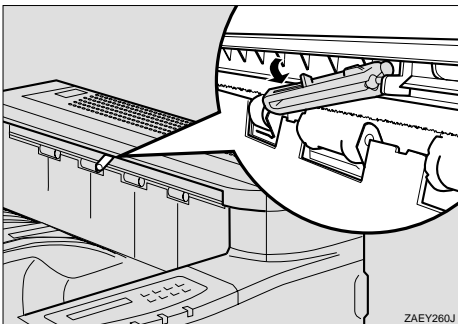
ZAET010J

8 **感光体ユニットから出ている赤色の紙を引き抜き、金具とテープ２本を取り除きます。**

ZAEK010J

重要

- ❒ 感光体ユニットから出ている赤色の紙とテープは必ず取り除いてください。取り除かないで電源を入れるとエラーが表示されます。

9 **前カバーを閉めます。**

10 **プリンター上部の排紙口にある満杯検知機を図のようにセットします。**

ZAEY260J

11 **同梱の給紙段数表示デカルを給紙トレイ前面にある用紙サイズ表示部の下に貼ります。**

これでプリンター本体の準備ができました。オプションの取り付け方法はP.8「オプションを取り付ける」参照してください。

設置環境、電源・アースを確認する

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

⚠注意

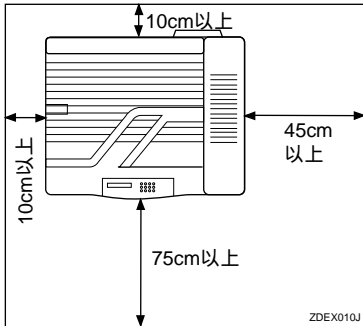
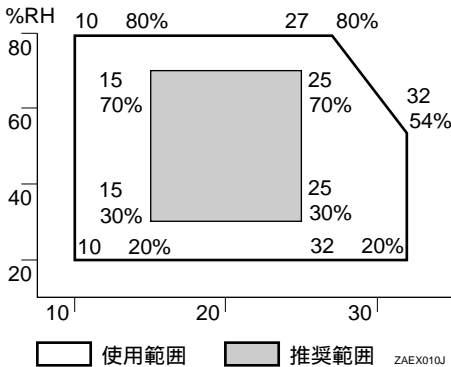
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

設置環境を確認する

設置環境については以下のことを守ってください。

- プリンターは、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
- 用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、目安として図のようなスペースを確保してください。

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してご使用ください。

- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下
- 故障の原因になりますので、次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所
  - エアコンや暖房機などの温風・複写熱が直接当たる所
  - 通気性、換気の悪い所。またほこりの多い所
  - ラジオ、テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近い所
  - 加湿器の近く

電源・アースを確認する

プリンターの電源については以下のことを守ってください。

- 100V、10A以上、50/60Hzの電源をご使用ください。
- 本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。
  - コンセントのアース端子
  - 接地工事（D種）を行っているアース線

1

オプションを取り付ける

⚠注意

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

オプションを取り付けるとプリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。オプションの種類については使用説明書＜取り扱い編＞「関連商品一覧」を参照してください。

プリンター本体に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをお勧めします。

補足

❒ 1000枚フィニッシャーの設置については販売担当者にご相談ください。

❖ オプション取り付けの流れ

① 給紙テーブルを取り付ける

給紙テーブルには、500枚増設トレイユニット、1000枚給紙テーブル、2000枚給紙テーブルがあり、いずれか１つを取り付けることができます。⇒ P.12 「給紙テーブルを取り付ける」

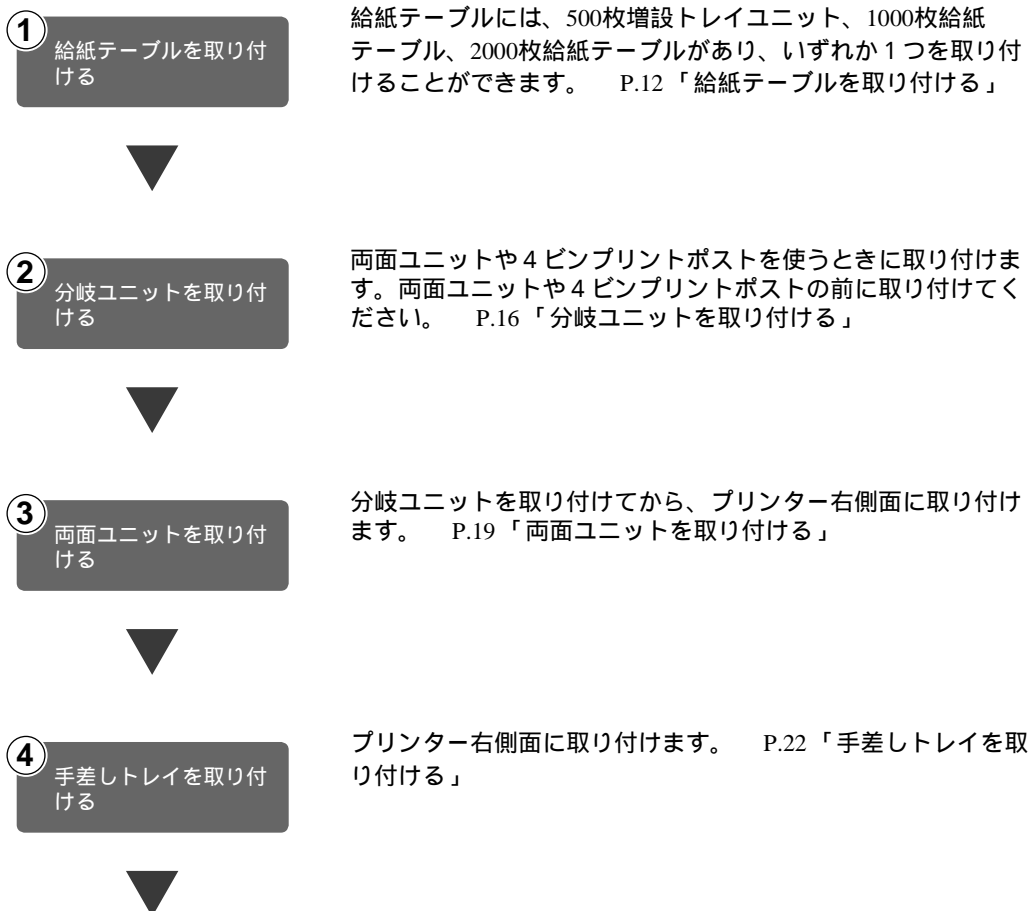
② 分岐ユニットを取り付ける

両面ユニットや４ビンプリントポストを使うときに取り付けます。両面ユニットや４ビンプリントポストの前に取り付けてください。⇒ P.16 「分岐ユニットを取り付ける」

③ 両面ユニットを取り付ける

分岐ユニットを取り付けてから、プリンター右側面に取り付けます。⇒ P.19 「両面ユニットを取り付ける」

④ 手差しトレイを取り付ける

プリンター右側面に取り付けます。⇒ P.22 「手差しトレイを取り付ける」

排紙中継ユニットを取り付ける

フィニッシャーを使うときに取り付けます。フィニッシャーの前に取り付けてください。⇒ P.25 「排紙中継ユニットを取り付ける」

▼

500枚フィニッシャーを取り付ける

排紙中継ユニットを取り付けてから、プリンター左側面に取り付けます。⇒ P.27 「500枚フィニッシャーを取り付ける」

▼

4ビンプリントポストを取り付ける

分岐ユニットを取り付けてから、分岐ユニット上部に取り付けます。⇒ P.29 「４ビンプリントポストを取り付ける」

▼

SDRAMモジュールを取り付ける

SDRAMモジュールには、32、64、128Mバイトの３種類があり、いずれか１つを取り付けることができます。
⇒ P.31 「SDRAMモジュールを取り付ける」

▼

マルチエミュレーションモジュールを取り付ける

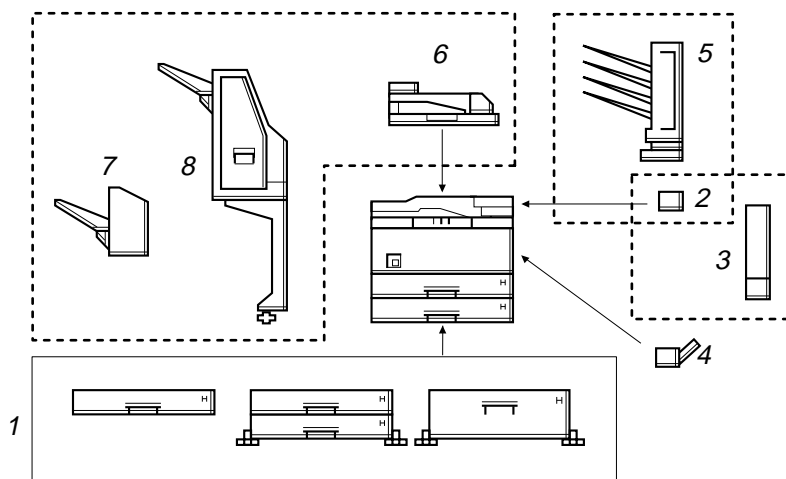
R-PS2、RP-GL/2、RTIFF、5577の４種類のエミュレーションを含むマルチエミュレーションモジュールを取り付けることができます。⇒ P.32 「マルチエミュレーションモジュールを取り付ける」

▼

⑩ **拡張HDDを取り付ける**

⇒ P.33 「拡張HDDを取り付ける」

オプションを取り付ける位置は次の図のとおりです。

❖ 外部

1. **給紙テーブル**

プリンター本体を載せて、ねじで固定します。給紙テーブルには次の３つがあり、いずれか１つを取り付けることができます。

⇒ P.12 「給紙テーブルを取り付ける」

① **500枚増設トレイユニット**

最大500枚の用紙をセットできます。

② **1000枚給紙テーブル**

最大1,000枚（500枚×2段）の用紙をセットできます。

③ **2000枚給紙テーブル**

最大2,000枚の用紙をセットできます。

2. **分岐ユニット**

両面ユニット、４ビンプリントポストに用紙を送ります。

⇒ P.16 「分岐ユニットを取り付ける」

3. **両面ユニット**

用紙の両面に印刷することができます。分岐ユニットを取り付けてから、右側面に取り付けます。

⇒ P.19 「両面ユニットを取り付ける」

4. **手差しトレイ**

不定形サイズの用紙をセットできます。最大100枚の用紙をセットできます。

⇒ P.22 「手差しトレイを取り付ける」

5. **４ビンプリントポスト**

複数の端末から送信されてくる印刷の排紙先を分けることができます。分岐ユニットを取り付けてから、分岐ユニット上部に取り付けます。

⇒ P.29「４ビンプリントポストを取り付ける」

6. **排紙中継ユニット**

フィニッシャーに用紙を送ります。

⇒ P.25 「排紙中継ユニットを取り付ける」

7. **500枚フィニッシャー**

複数部の用紙を仕分けたり、ステープルします。最大500枚の用紙を排紙することができます。排紙中継ユニットを先に取り付けてから左側面に取り付けます。

⇒ P.27 「500枚フィニッシャーを取り付ける」

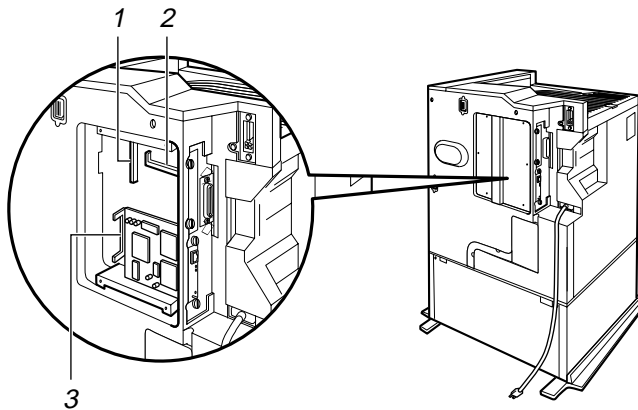
8. **1000枚フィニッシャー**

複数部の用紙を仕分けたり、ステープルします。最大1,000枚の用紙を排紙することができます。

補足

❒ 1000枚フィニッシャーを取り付けるときは、排紙中継ユニットと、1000枚給紙テーブルまたは2000枚給紙テーブルが必要です。

❒ 1000枚フィニッシャーの取り付けは、サービスマンが行いますので、販売担当者にご相談ください。

❖ 内部

1. **拡張HDD**

コントローラーボードカバー内のスロットに取り付けます。

⇒ P.33 「拡張HDDを取り付ける」

2. **SDRAMモジュール**

コントローラーボードカバー内のスロットに、3種類（32、64、128Mバイト）の中から1枚取り付けます。

⇒ P.31 「SDRAMモジュールを取り付ける」

3. **マルチエミュレーションモジュール**

コントローラーボードカバー内のスロットに、マルチエミュレーションモジュール タイプ810を取り付けます。

⇒ P.32 「マルチエミュレーションモジュールを取り付ける」

1

1

給紙テーブルを取り付ける

⚠注意

- プリンター本体は約40Kgあります。
- 機械を移動するときは、2人以上で左右の側面にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 500枚増設トレイユニットは11Kgあります。
- 1000枚給紙テーブル、2000枚給紙テーブルは約22.8Kgあります。
- 給紙テーブルを移動するときは、2人以上で給紙テーブル上面の2本の棒を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

給紙テーブルには、「500枚増設トレイユニット」「1000枚給紙テーブル」「2000枚給紙テーブル」の３種類があり、いずれか１つを取り付けることができます。ここでは、1000枚給紙テーブルの取り付けを例に説明します。

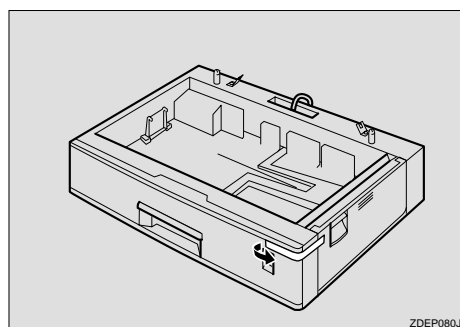
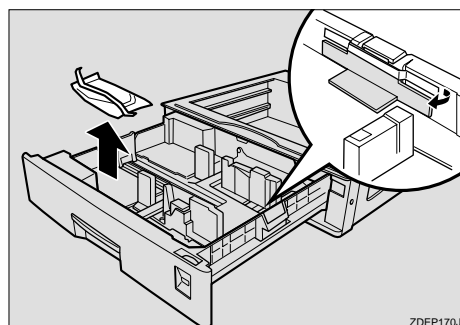
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用のテープと固定材を取り外します。

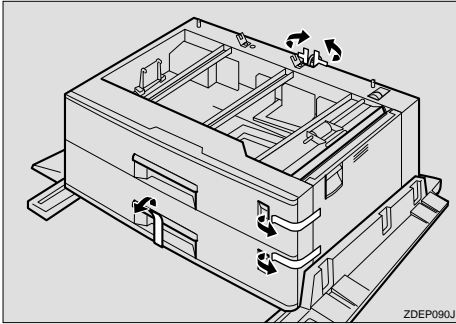
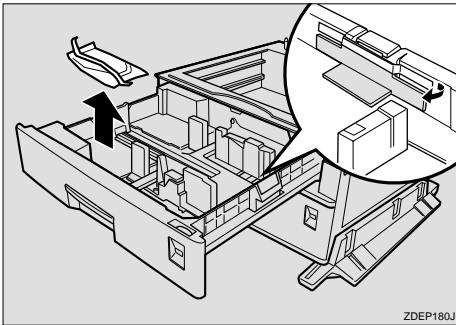
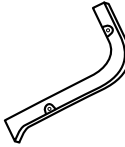
重要

- ❒ ケーブルと給紙テーブルを固定しているテープはプリンター本体を載せてからはがしてください。

500枚増設トレイユニット

❶ 可動部を固定しているテープを取り外します。

❷ 給紙トレイを引き出して同梱品を取り出し、フリクションパッドの固定材とテープを取り外します。

❸ 給紙トレイを元に戻します。

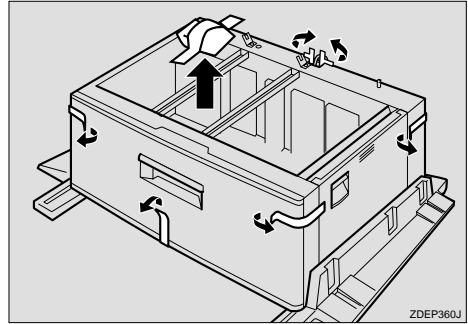
1000枚給紙テーブル

❶ **可動部を固定しているテープを取り外します。**

❷ **上段の給紙トレイを引き出して同梱品を取り出し、フリクションパッドを固定しているテープと固定材を取り外します。**

❸ **給紙トレイを元に戻します。**

❹ **下段の給紙トレイを引き出し、フリクションパッドを固定しているテープと固定材を取り外します。**

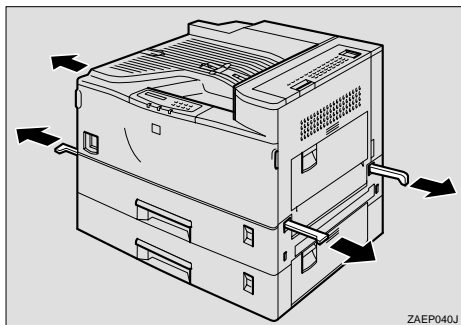
❺ **給紙トレイを元に戻します。**

2000枚給紙テーブル

❶ **可動部を固定しているテープを取り外し、固定材を取り出します。**

3 同梱品が揃っていることを確認します。

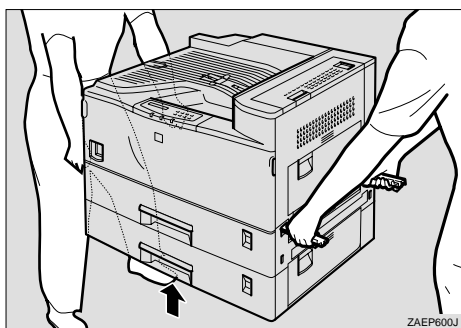
補足

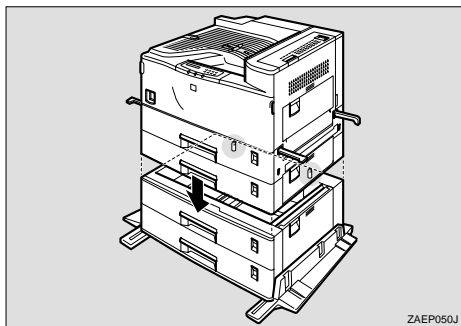
❒ サイズ表示デカルは、2000枚給紙テーブルにだけ同梱されます。

4 **プリンター本体の側面から取っ手を４本引き出します。**

ZAEP040J

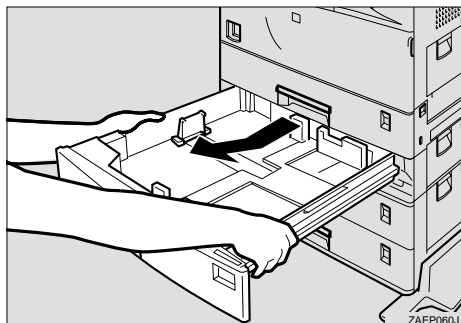
5 **取っ手を持ち、プリンターと給紙テーブルの前面を合わせるようにして、給紙テーブルの上にプリンター本体を載せます。**

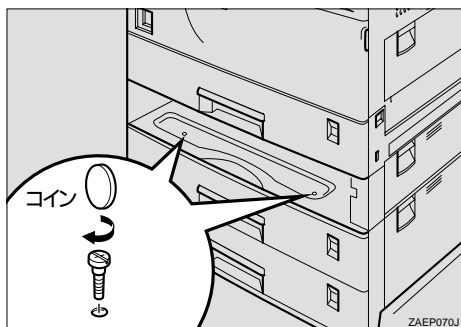
重要

❒ プリンター本体は側面から引き出した取っ手を２人以上で持ってください。

ZAEP600J

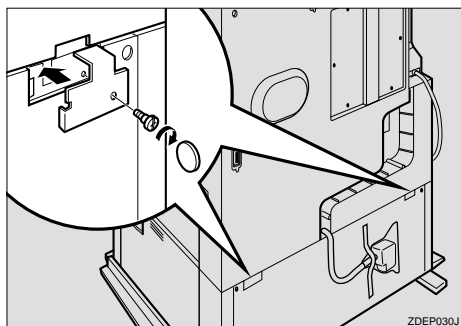
❒ 給紙テーブルやプリンター本体から出ているコネクターを挟み込まないようにしてください。

ZAEP050J

6 **手順 4 で引き出した取っ手をプリンター内部に戻します。**

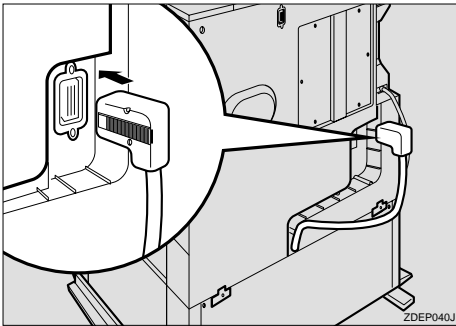
7 **プリンター本体の上から２段目の給紙トレイをいっぱいに引き出し、手前側を持ち上げてから引き抜きます。**

ZAEP060J

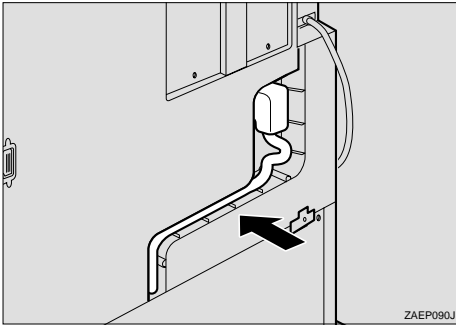
8 **コインなどを使ってねじを２本締め、給紙テーブルとプリンター本体を固定します。**

ZAEP070J

9 **給紙トレイを元に戻します。**

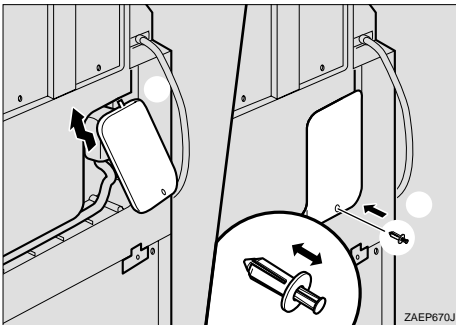
10 **プリンター背面と給紙テーブル背面に装着用金具２カ所を取り付け、コインなどを使ってねじを締めて固定します。**

ZDEP030J

11 ケーブル固定用のテープを取り外し、コネクターをプリンター本体の背面に接続します。

ZDEP040J

12 接続したコネクターのケーブルを、ケーブル格納用の溝にはめ込みます。

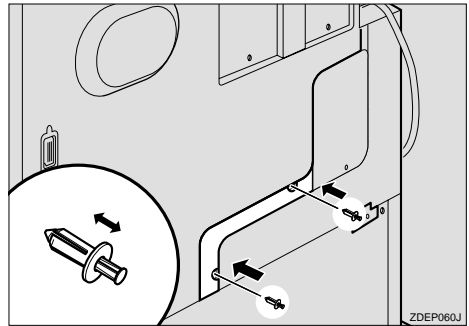
ZAEP090J

13 コネクターカバー１を取り付け（①)、リベットねじ１本を差し込み、ねじ中央部を押し込んで固定します（②)。

ZAEP670J

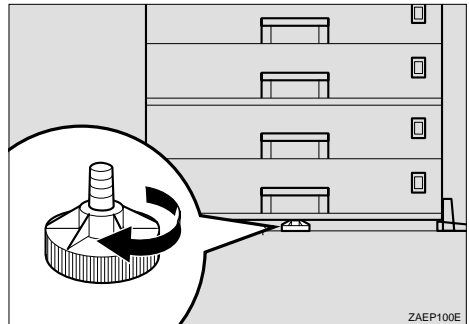
補足

❒ リベットねじは、図のように差し込み側が受け側から引き出されていることを確認してから、ねじ穴に差し込んでください。

14 コネクターカバー２を取り付けてリベットねじ２本を差し込み、ねじ中央部を押し込んで固定します。

ZDEP060J

補足

❒ リベットねじは、図のように差し込み側が受け側から引き出されていることを確認してから、ねじ穴に差し込んでください。

15 給紙テーブルの下部中央にあるアジャスタを右側を回して床面に軽く接地させ、プリンター本体と床面を固定します。

ZAEP100E

補足

❒ 500 枚増設トレイユニットを取り付けた場合は、この操作は必要ありません。

16 給紙トレイ前面の用紙サイズ表示部の下に同梱のデカルを貼ります。

- 500 枚増設トレイ、1000 枚給紙テーブルを取り付けた場合は、プリンター本体に同梱されている「給紙段数表示デカル」を貼ります。
- 2000 枚給紙テーブルを取り付けた場合は、2000枚給紙テーブルに同梱されている「サイズ表示デカル」を貼ります。

補足

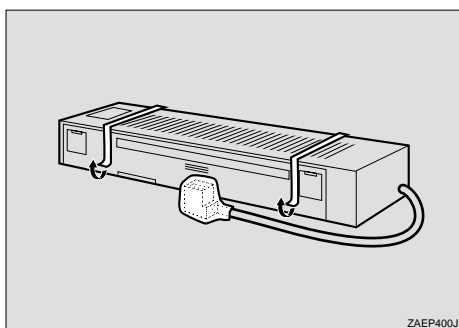
- ❒ 給紙テーブルが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシートの「エンジンオプション」の欄で確認できます。次のように表示されていれば、正しく取り付けられています。
  - 「500枚増設トレイユニット」⇒「500枚給紙テーブル」
  - 「1000枚給紙テーブル」⇒「1000枚給紙テーブル」
  - 「2000枚給紙テーブル」⇒「2000枚給紙テーブル」

参照

ステータスシートの印刷方法は、P.43「テスト印刷する」を参照してください。

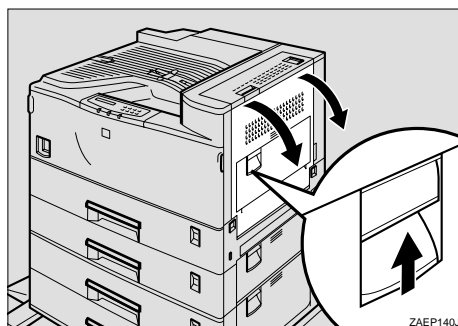
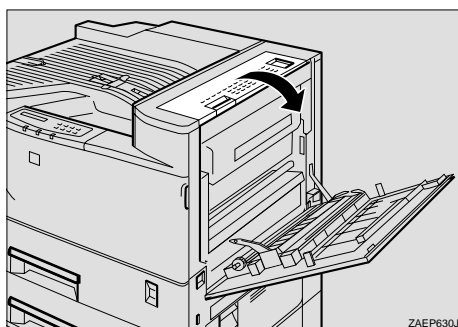
分岐ユニットを取り付ける

1 **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

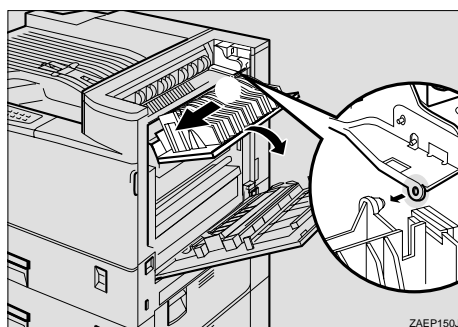
2 **固定用のテープと固定材を取り外します。**

3 **同梱品が揃っていることを確認します。**

マイバンク&ＱＡ登録票

ZAEP381J

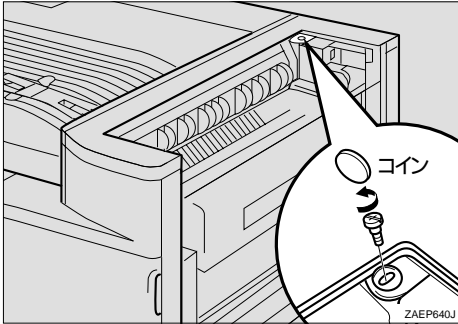
4 **レバーを上げ、本体右カバーを開けます。**

5 **取っ手を持って上カバー１を開けます。**

6 **上カバー１を図の方向に押し（①）、図の位置にある突起を外してから（②）、取り外します。**

補足

- ❒ 取り外した上カバー１は、使用しません。

7 **上カバー２のねじ１本をコインなどを使って外します。**

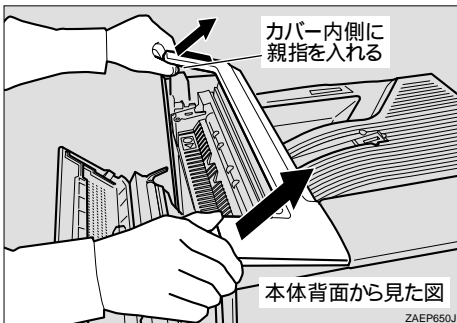
補足

❒ 取り外したねじは、使用しません。

ZAEP640J

8 **上カバー２の内側に指を入れ、本体右側に引きながら持ち上げて取り外します。**

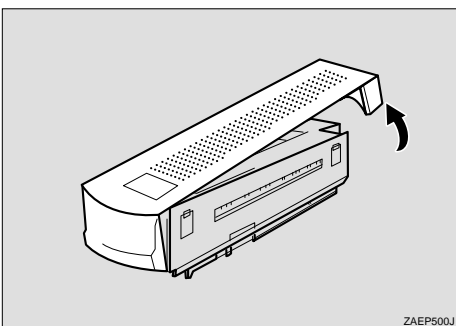
補足

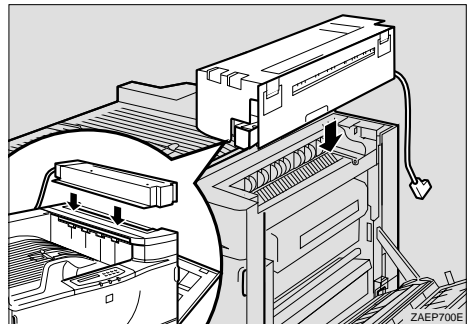
❒ 取り外した上カバー２は、使用しません。

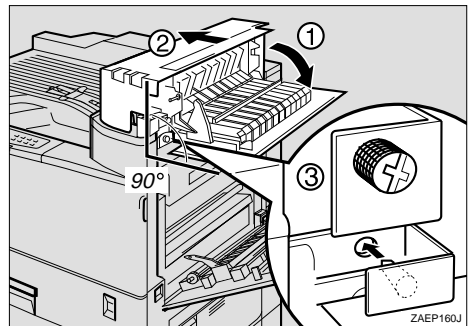
ZAEP650J

9 **分岐ユニットから分岐ユニット上カバーを取り外します。**

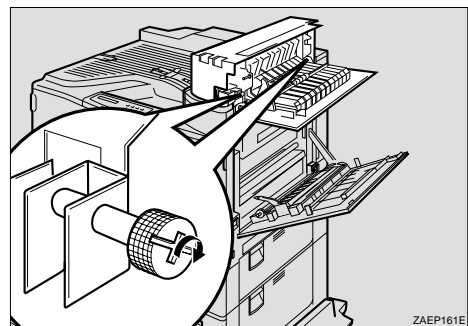
補足

❒ 取り外した上カバーは、手順15で使います。

ZAEP500J

10 **ケーブルがプリンター本体の背面になるようにして、分岐ユニットをプリンター上部の図の位置と平行に載せます。**

ZAEP700E

11 **右カバーを開け（①）、カバーを 90 度に保った状態で矢印の方向へスライドさせます（②)。このとき、図の位置の突起が穴にきちんと入っていることを確認します（③)。**

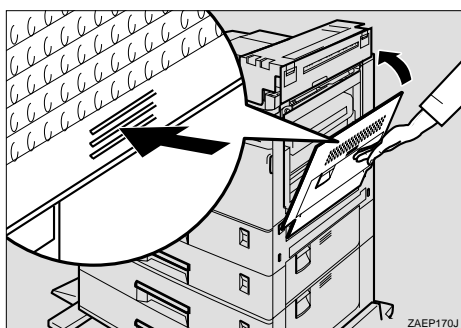
ZAEP160J

12 **分岐ユニットの右カバーを 90 度に保ちながら、ねじ２本を手で締め、分岐ユニットとプリンター本体を固定します。ねじは、最後にコインなどを使ってきつく締めます。**

ZAEP161E

1

13 分岐ユニットの右カバーを閉めます。

ZAEP162J

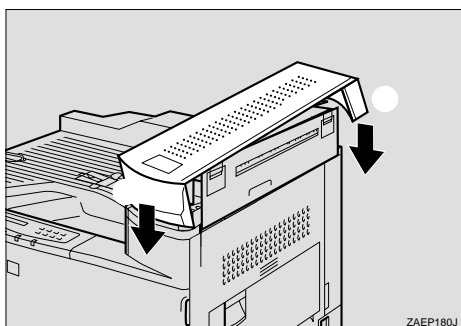
14 図の位置を押して本体右カバーを閉めます。

ZAEP170J

15 ４ピンプリントポストを取り付けないときは、手順9で取り外した分岐ユニットの上カバーを取り付けます。カバーはプリンター前面側を先に取り付けてから(①)、背面側を取り付けます（②)。

４ピンプリントポストを取り付ける場合は、手順16へ進みます。

ZAEP180J

16 分岐ユニットのコネクターをプリンター本体背面の図の位置に接続します。

ZDEP070J

両面ユニットを取り付ける

操作の前に

ここでは、手差しトレイを取り付けていない状態からの取り付けを例に説明します。

すでに手差しトレイを取り付けている場合は、手順5～8は行わず、P.22「手差しトレイを取り付ける」の手順8～10を行ってから、両面ユニットを取り付けてください。

重要

❒ 両面ユニットを取り付けるときは、先に分岐ユニットを取り付けてください。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用のテープと固定材を取り外します。

ZAEP410J

ZAEP520J

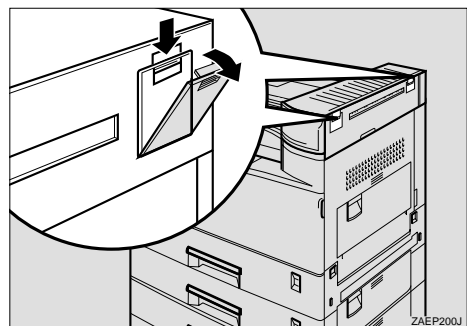
3 同梱品が揃っていることを確認します。

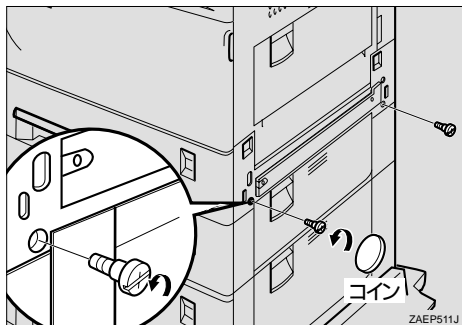
ZAEP382J

4 プリンター本体右側面の上部にある小さいカバー２枚を取り外します。

補足

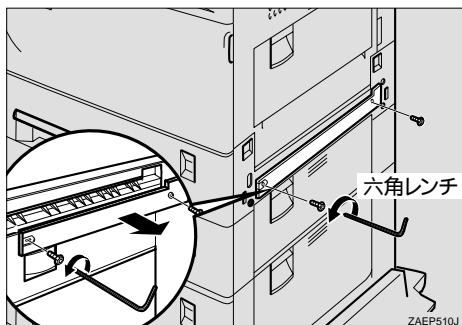
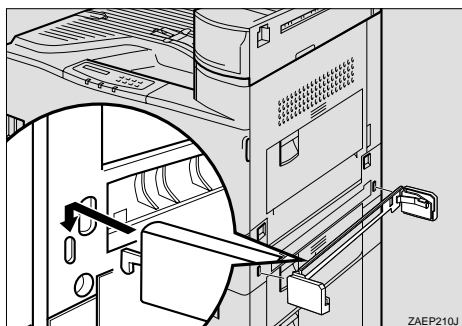
❒ 取り外したカバーは使用しません。

ZAEP200J

5 **プリンター右側面にあるねじ２本をコインなどを使って取り外します。**

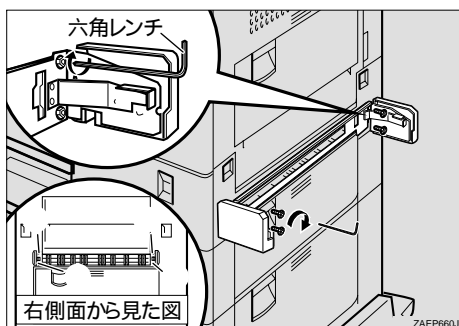
補足

❒ 取り外したねじは使用しません。

6 **同梱の六角レンチを使ってねじ２本を外し、プリンター右側面にあるカバーを取り外します。**

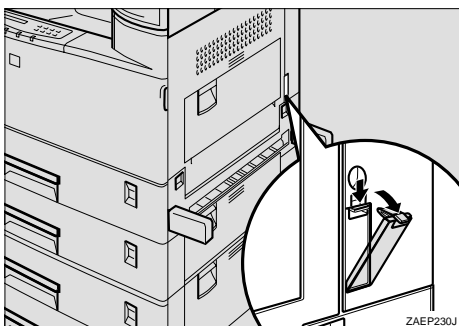
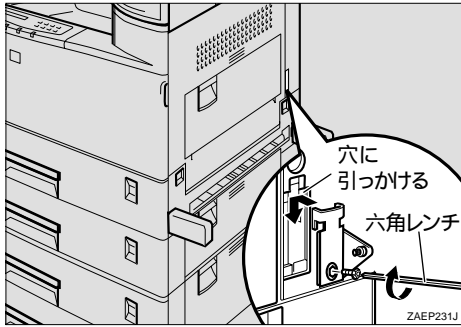
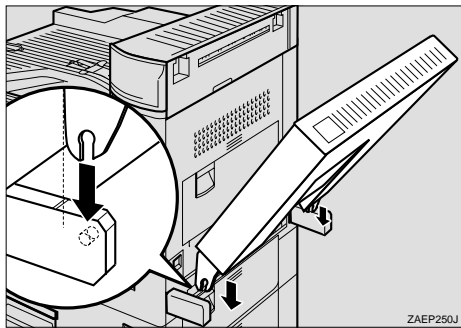
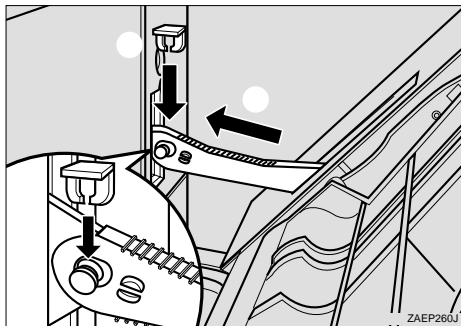
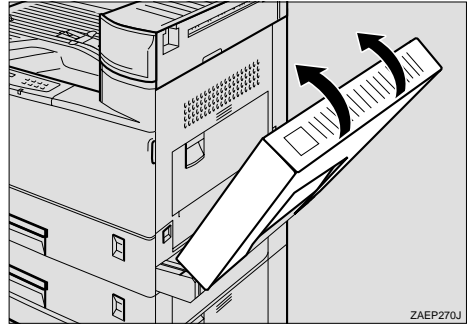
補足

❒ 取り外したねじとカバーは使用しません。

7 **受け台のツメの部分をプリンター本体右側面の差し込み口に入れ、下に押します。**

8 **同梱の六角レンチを使ってねじ４本を図の順番に締め、受け台とプリンター本体を固定します。**

重要

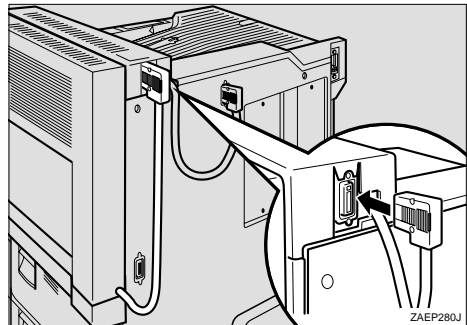
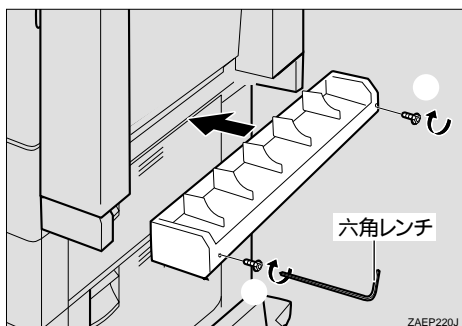
❒ ねじは、プリンター本体右側から見て、右上、左上、右下、左下の順に取り付けてください。

9 **プリンター本体右側面中央の小さいカバーを取り外します。**

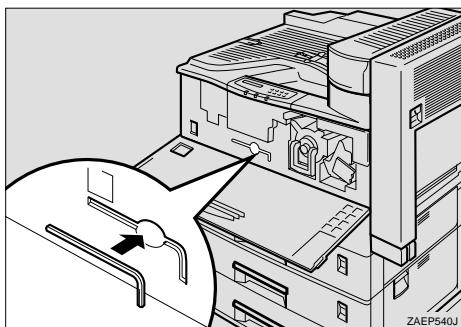
補足

❒ 取り外したカバーは使用しません。

10 **手順 9 で外したカバー内部の穴に同梱のフックをひっかけ、六角レンチを使ってねじ１本を締めてフックとプリンター本体を固定します。**

11 **両面ユニットを持ち、図の位置にある受け台のマークを基準にしてユニットの軸を垂直に下ろし、受け台にはめます。**

12 **両面ユニット内側にある補助バーを手順10で取り付けたフックに掛け（①）、接続部にストッパーを取り付けて固定します(②)。**

13 **両面ユニットを閉めます。**

補足

- ❒ 両面ユニットが閉まらないときは、手順8で受け台がきちんと取り付けられていません。手順8のねじを①〜④の順に締め直してください。

14 **両面ユニットのコネクターを分岐ユニット背面の図の位置のコネクタに接続します。**

1

15 手差しトレイを取り付けない場合は受け台のカバーを取り付けます。同梱の六角レンチを使ってねじ２本を図の順番に締めて、受け台とカバーを固定します。

補足

- ❒ 手差しトレイを取り付ける場合は、受け台のカバーは取り付けません。
- ❒ 六角レンチは、前カバー内部の六角レンチ格納場所に差し込んで、保管してください。

- ❒ 両面ユニットが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシートの「エンジンオプション」の欄で確認できます。「両面ユニット」と表示されていれば、正しく取り付けられています。ステータスシートの印刷方法は、P.43「テスト印刷する」を参照してください。

手差しトレイを取り付ける

操作の前に

ここでは、両面ユニットを取り付けていない状態からの取り付けを例に説明します。

すでに両面ユニットを取り付けている場合は、P.19「両面ユニットを取り付ける」の手順 15 で取り付けた受け台カバーを取り外しておいてください。

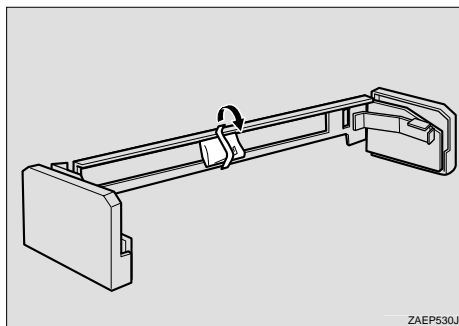
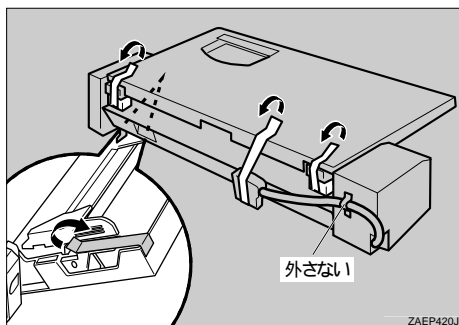
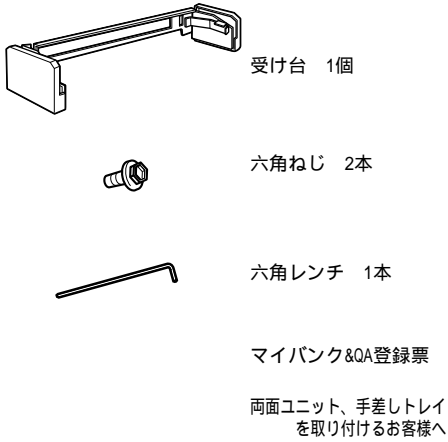
補足

- ❒ 両面ユニットを取り付けるときは、手差しトレイよりも先に取り付けてください。
- ❒ すでに両面ユニットを取り付けている場合は手順1〜3の後、手順8へ進んでください。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

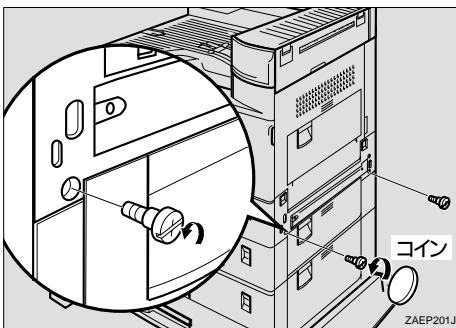
2 固定用のテープと固定材を取り外します。

重要

- ❒ ケーブルと手差しトレイを固定しているテープはプリンター本体に取り付けてからはがしてください。

3 同梱品が揃っていることを確認します。

補足

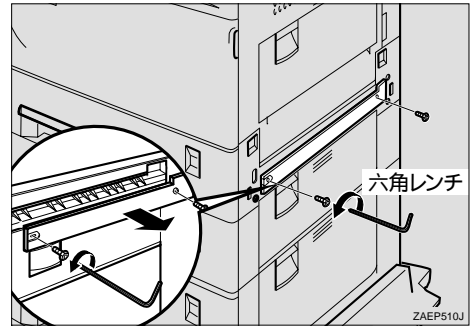
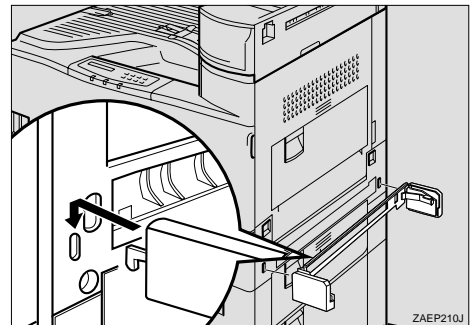
- ❒ 両面ユニットを取り付けている場合は、受け台は使用しません。手順**8**へ進んでください。

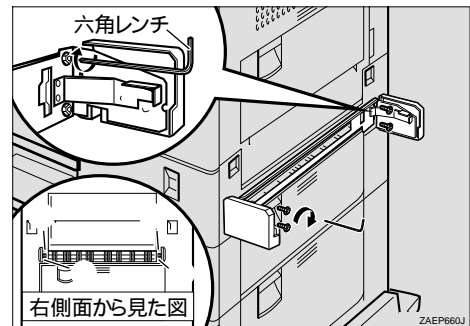
4 プリンターの右側面にあるねじ２本をコインなどを使って取り外します。

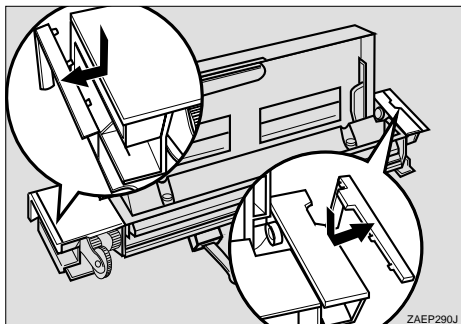
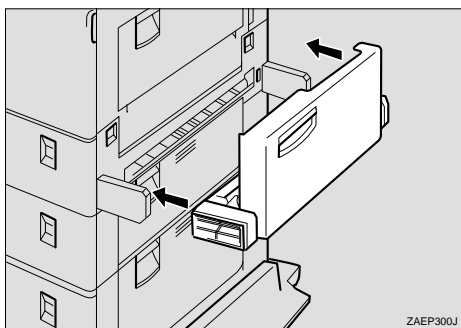
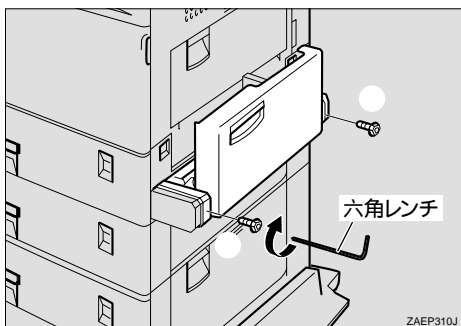
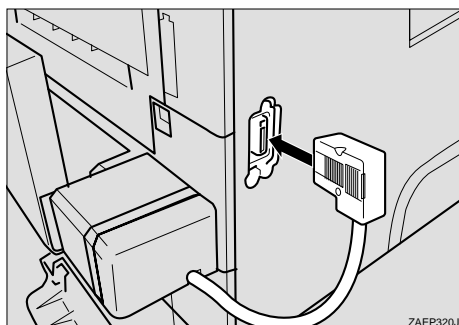
補足

- ❒ 取り外したねじは使用しません。

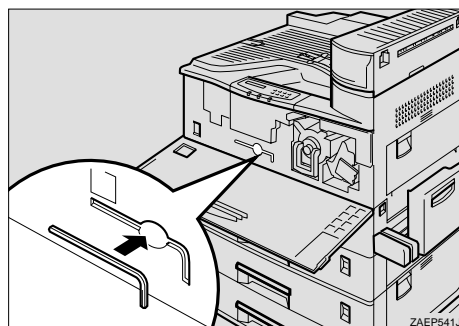
5 同梱の六角レンチを使ってねじ２本を外し、プリンターの右側面にあるカバーを取り外します。

補足

- ❒ 取り外したねじとカバーは、使用しません。

6 受け台のツメの部分をプリンター本体の差し込み口に入れ、下に押します。

7 同梱の六角レンチを使ってねじ４本を図の順番に締め、受け台とプリンター本体を固定します。

重要

- ❒ ねじは、プリンター本体右側から見て、右上、左上、右下、左下の順に取り付けてください。

8 両面ユニットを取り付けている場合は、手差しトレイの両サイドをミシン目に沿って折り、取り外します。両面ユニットを取り付けていない場合は、手順9へ進みます。

9 受け台の左右内側にあるレールに、手差しトレイの左右にある溝を合わせるようにしてプリンター本体に差し込みます。

10 六角レンチを使って、六角ねじ２本を図の順番に締め、手差しトレイと受け台を固定します。

11 手差しトレイとケーブルを固定していたテープをはがし、コネクターをプリンター本体背面の左下部に接続します。

補足

- ❒ 六角レンチは、前カバー内部の六角レンチ格納場所に差しこんで、保管してください。六角レンチは１本だけ格納できます。両面ユニットを取り付け、六角レンチを２本お持ちの場合は１本は別に保管してください。

- ❒ 手差しトレイが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシートの「エンジンオプション」の欄で確認します。「手差しトレイ」が表示されていれば、正しく取り付けられています。ステータスシートの印刷方法は、P.43 「テスト印刷する」を参照してください。

排紙中継ユニットを取り付ける

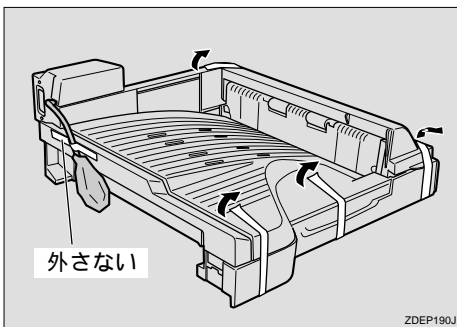
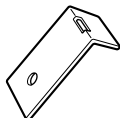
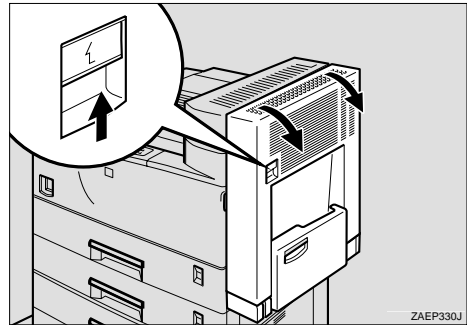
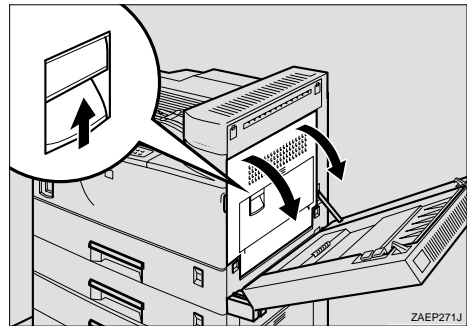
補足

- ❒ オプションの４ビンプリントポストをすでに取り付けている場合は、４ビンプリントポストの排紙トレイ４枚を取り外してから排紙中継ユニットを取り付けてください。

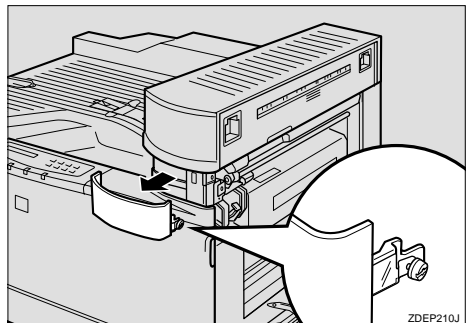
1 **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **固定用のテープを取り外します。**

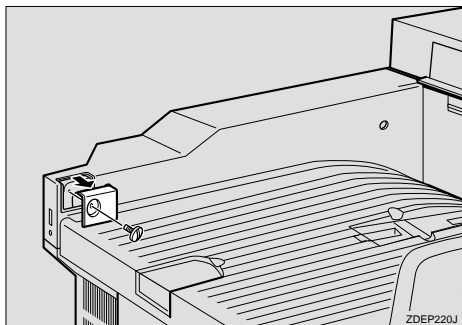
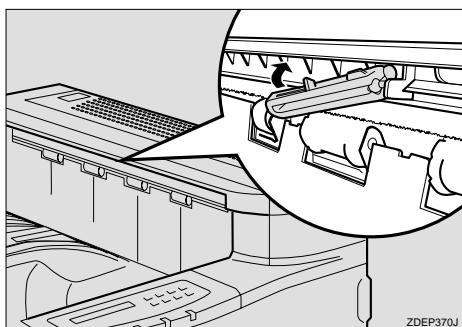
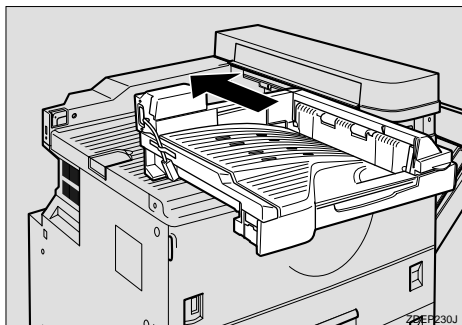
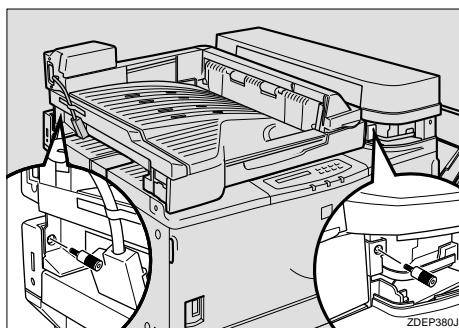
重要

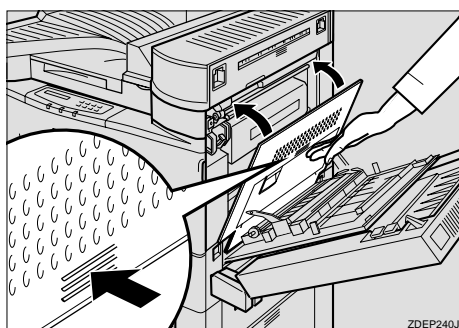
- ❒ 排紙中継ユニットとケーブルを固定しているテープは、プリンター本体に取り付けてからはがしてください。

3 **同梱品が揃っていることを確認します。**

4 **両面ユニットを取り付けているときは、レバーを上げて両面ユニットを開けます。**

5 **レバーを上げ、本体右カバーを開けます。**

6 **図の位置にあるねじを外し、右前カバーを取り外します。**

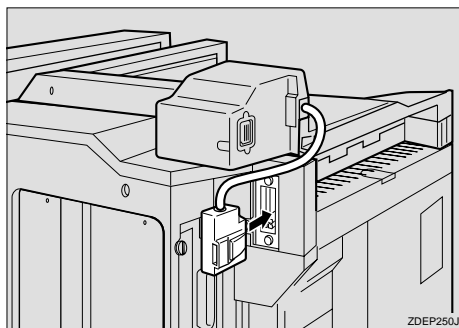
補足

- ❒ 外したねじの落下防止のため、カバーには透明フィルムがついています。ねじは、透明フィルムからは外さないようにしてください。
- ❒ 取り外したカバーは手順⓫で使用します。

7 図の位置にあるねじとカバーを取り外します。

補足

❒ 取り外したねじとカバーは使用しません。

8 プリンター上部の排紙口にある満杯検知機がセットされている場合は、図のように排紙口内へ戻します。

9 排紙中継ユニットを本体の排紙トレイの上に置き、排紙中継ユニットの右側面が本体排紙口を沿うように奥側へスライドして設置します。

10 排紙中継ユニットをねじ２本で固定します。

11 手順6で取り外したカバーを元に戻し、ねじで固定します。

12 図の位置を押して本体右カバーを閉めます。

13 両面ユニットを取り付けているときは、両面ユニットを閉めます。

14 排紙中継ユニットとケーブルを固定していたテープとビニール袋をはがし、コネクターをプリンター本体背面の図の位置に接続します。

15 同梱の保護板を図の位置に取り付けます。

補足

❒ 保護板はフィニッシャー接続時に固定します。ここではねじ等で固定しません。

ZDEP260J

500枚フィニッシャーを取り付ける

補足

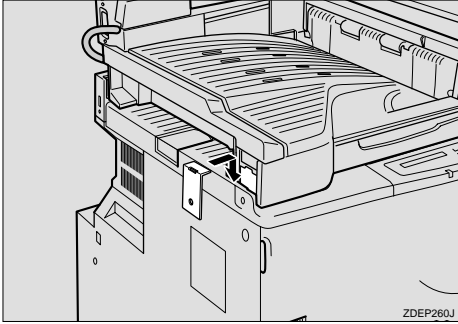
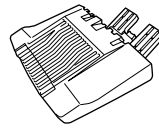
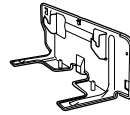
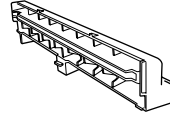
❒ 500枚フィニッシャーを取り付けるときは、先に排紙中継ユニットを取り付けてください。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用のテープを取り外します。

重要

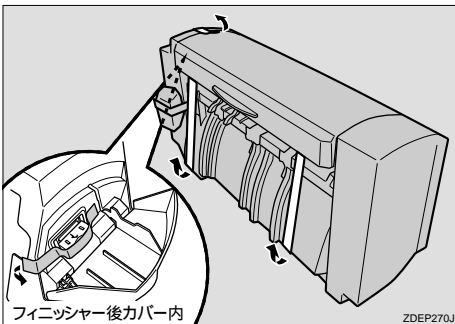
❒ 500枚フィニッシャーとケーブルを固定しているテープは、プリンター本体に取り付けてからはがしてください。

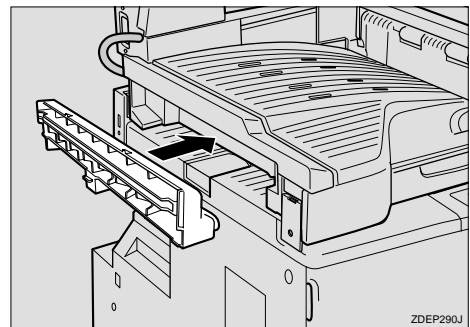
ZDEP270J

3 同梱品が揃っていることを確認します。

排紙トレイ

フィニッシャー台

排紙口ガイド

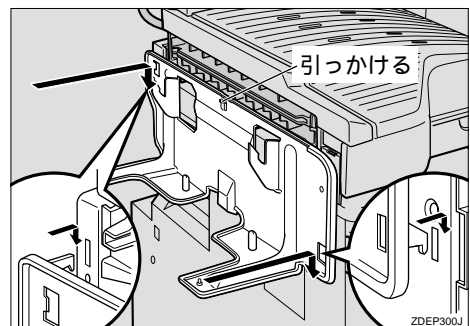
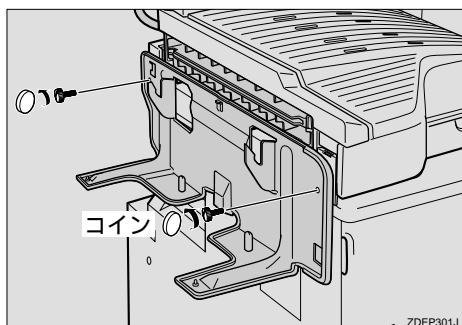
ねじ　2本

ストッパー　2個

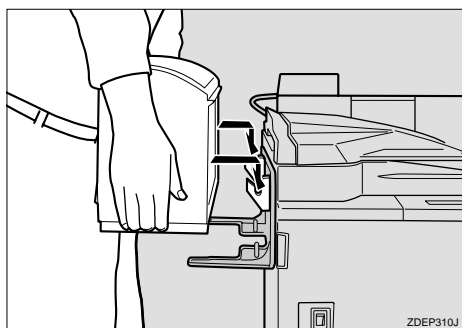
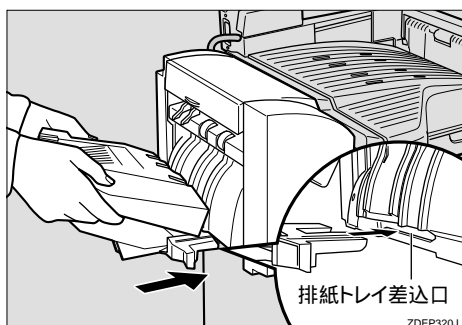
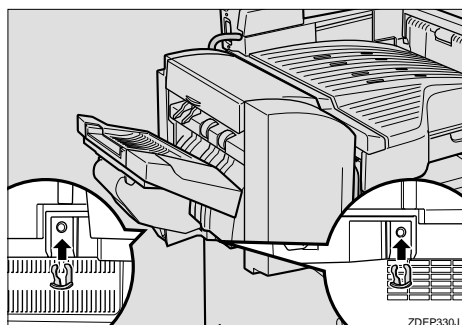
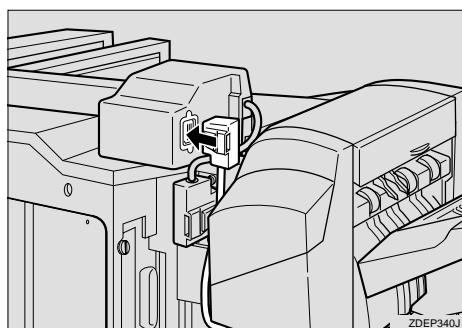
マイバンク＆QA登録票

ZDEP280J

4 本体と排紙中継ユニットの間に排紙口ガイドを差し込みます。

ZDEP290J

5 フィニッシャー台のツメを本体の差し込み口に入れ、排紙口ガイドの突部に引っかかるように取り付けます。

ZDEP300J

6 ねじ２本でフィニッシャー台を固定します。ねじは最後にコインなどで締めます。

7 500枚フィニッシャーを水平に保ちながら、500枚フィニッシャーのツメ穴とフィニッシャー台のツメが合うようにしてフィニッシャー台の上に垂直に下ろします。

補足

❒ 500枚フィニッシャーが傾いていると、フィニッシャー台とうまく接続できません。500枚フィニッシャーを取り外してから、接続し直してください。取り外し方法については、<取り扱い編>「移動」を参照してください。

8 排紙トレイを500枚フィニッシャーの排紙トレイ差し込み口に平行に差し込みます。

9 排紙トレイ下部にストッパーを２カ所付けて固定します。

10 500枚フィニッシャーとケーブルを固定していたテープをはがし、コネクターを排紙中継ユニットの図の位置に接続します。

補足

❒ 500枚フィニッシャーが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシートの「エンジンオプション」の欄で確認できます。「500枚フィニッシャー」と表示されれば、正しく取り付けられています。ステータスシートの印刷方法は、P.43「テスト印刷する」を参照してください。

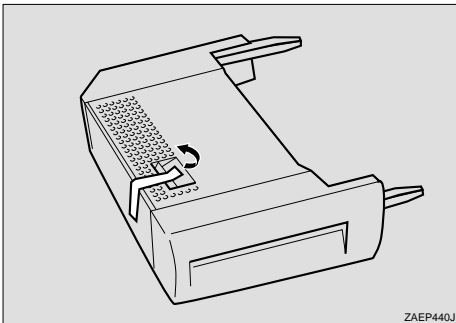
４ビンプリントポストを取り付ける

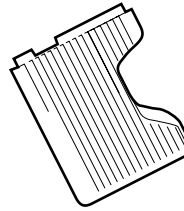
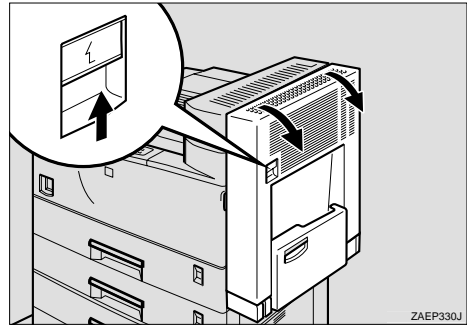
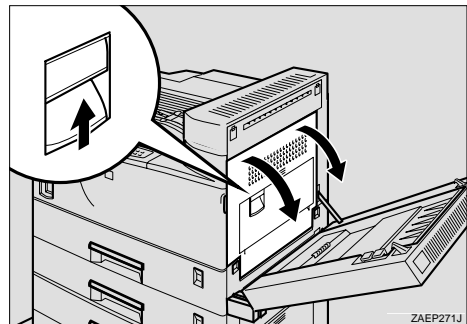
⚠注意

- ４ビンプリントポストは約7Kgあります。
- ４ビンプリントポストを移動するときは、両側面の中央部分を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

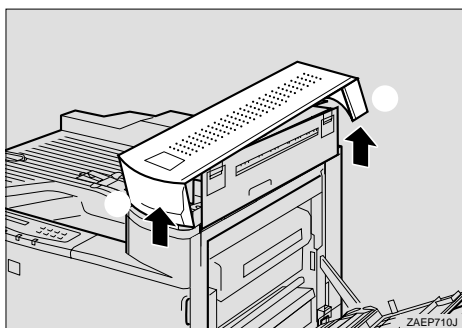
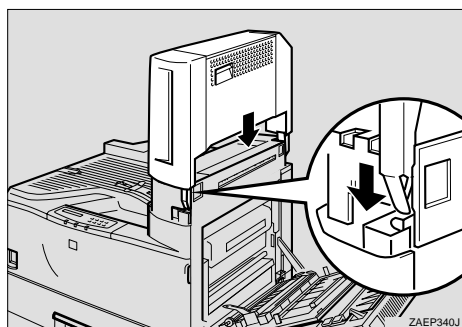
補足

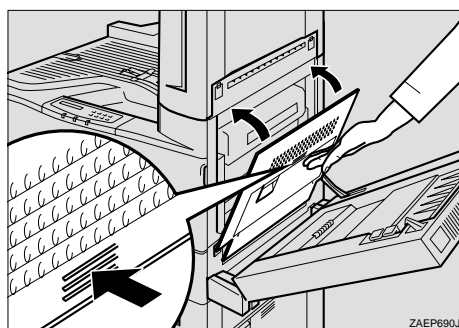
- ４ビンプリントポストを取り付けるときは、先に分岐ユニットを取り付けてください。
- オプションの給紙テーブル、排紙中継ユニットは、４ビンプリントポストを取り付ける前に取り付けてください。

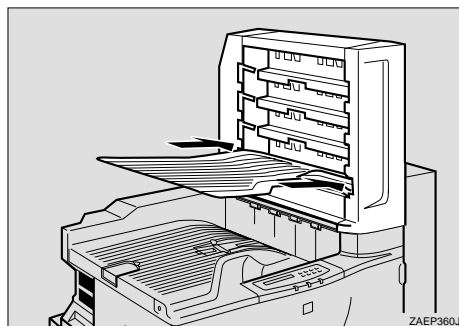
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用のテープを取り外します。

3 同梱品が揃っていることを確認します。

4 両面ユニットを取り付けている場合は、右側面のレバーを上げて両面ユニットを開けます。

5 右側面のレバーを上げて、右カバーを開けます。

6 分岐ユニットの上カバーを取り付けている場合は、背面側を上げながら取り外します。取り付けていない場合は、手順に7へ進みます。

補足

❒ 取り外した分岐ユニットの上カバーは使用しません。

7 ４ピンプリントポストの両端を持って、本体上から差し込みます。

8 ねじ２本を手で締め、４ピンプリントポストとプリンター本体を固定します。ねじは最後にコインなどを使って締めます。

9 図の位置を押して右カバーを閉めます。

10 両面ユニットを取り付けている場合は両面ユニットを閉めます。

11 排紙トレイ４枚を４ピンプリントポストに下から順に差し込みます。

補足

❒ ４ピンプリントポストが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシートの「エンジンオプション」の欄で確認できます。「４ピンプリントポスト」と表示されていれば、正しく取り付けられています。ステータスシートの印刷方法は、P.43「テスト印刷する」を参照してください。

SDRAMモジュールを取り付ける

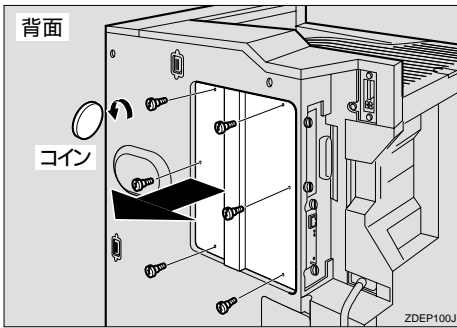
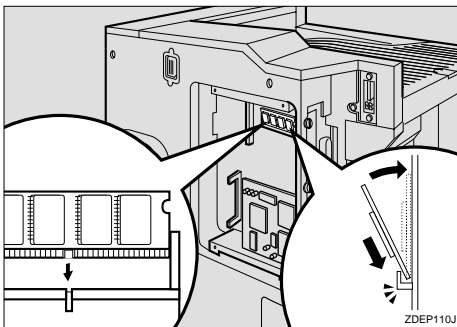
重要

- ❒ SDRAMモジュールに触れる前に、金属製の物に触れて身体の静電気を取り除いてください。

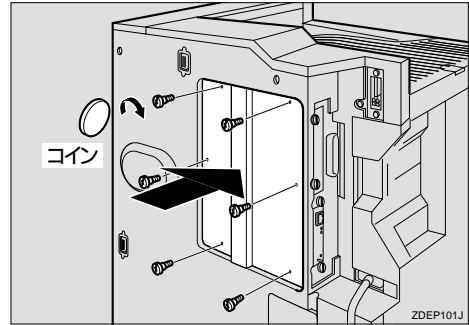
1 本機の電源を切ります。

2 コインなどを使ってねじ６本を外し、カバーを取り外します。

補足

- ❒ 取り外したねじはとカバーは手順4で使用します。

3 SDRAM モジュールの切り欠きと差し込み口の切り欠きの位置を合わせます。斜めに強く差し込んだ後（①）、カチッと音がするまで本体と水平になるように起こします（②）。

補足

- ❒ すでに拡張 HDD を取り付けている場合は、拡張HDDを取り外してください。

4 手順2のカバーを取り付け、コインなどを使ってねじ６本を締めます。

補足

- ❒ つづけてマルチエミュレーションモジュールや拡張HDDを取り付ける場合は、カバーを取り付ける必要はありません。
- ❒ SDRAM モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシートの「メモリ」欄で確認します。標準で装備されているメモリー容量は、16,384KBです。合計の容量が「トータル」に記載されているか確認してください。ステータスシートの印刷方法は、P.43 「テスト印刷する」を参照してください。

マルチエミュレーションモジュールを取り付ける

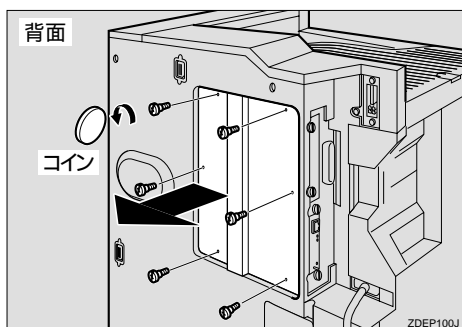
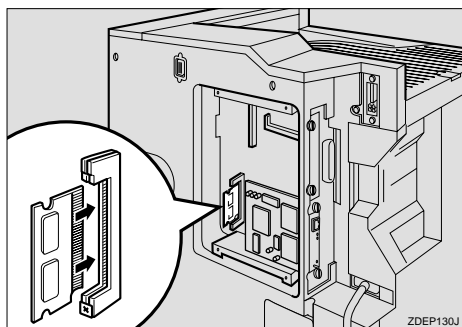
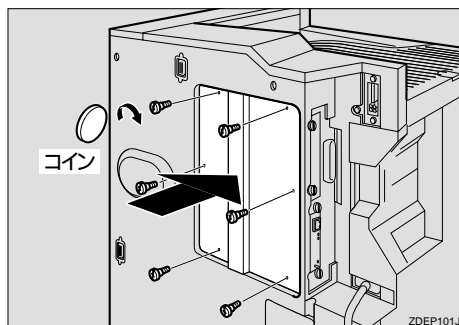
重要

- ❒ マルチエミュレーションモジュールに触れる前に、金属製の物に触れて身体の静電気を取り除いてください。

1 本機の電源を切ります。

2 コインなどを使ってねじ６本を外し、カバーを取り外します。

補足

- ❒ 取り外したねじはとカバーは手順4で使用します。

3 マルチエミュレーションモジュールの切り欠きが２カ所ある方を下にし、カチッと音がするまで差し込みます。

4 手順2のカバーを取り付け、コインなどを使ってねじ６本を締めます。

補足

- ❒ つづけて拡張HDDを取り付ける場合は、カバーを取り付ける必要はありません。
- ❒ マルチエミュレーションモジュールが正しく取り付けられたかどうか確認するには【**プログラム**】キーを押した後、【▲】【▼】キーを押します。取り付けたエミュレーション名が表示されれば、正しく取り付けられています。
  - 「マルチエミュレーションモジュール　タイプ 810」を取り付けたときは、「RPS」「RPGL」「R55」「RTF」が表示されます。

拡張HDDを取り付ける

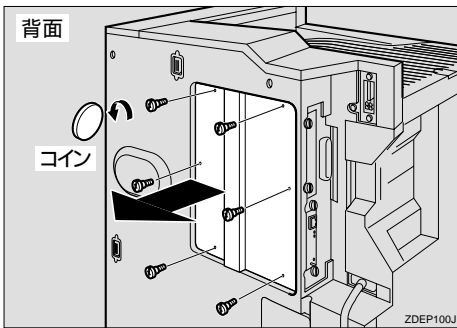
重要

- ❒ 拡張HDDに触れる前に、金属製の物に触れて身体の静電気を取り除いてください。

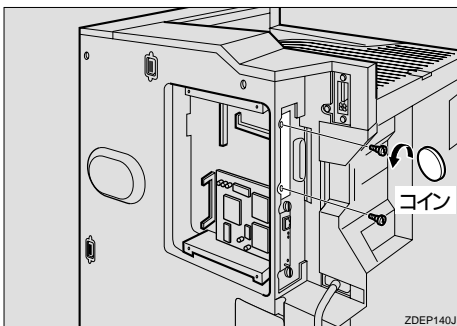
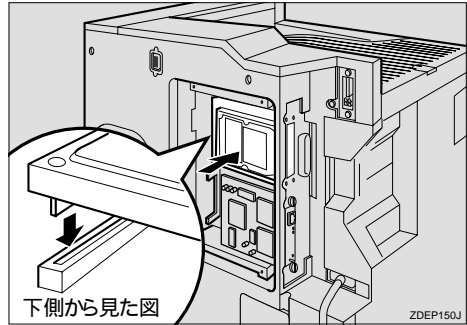
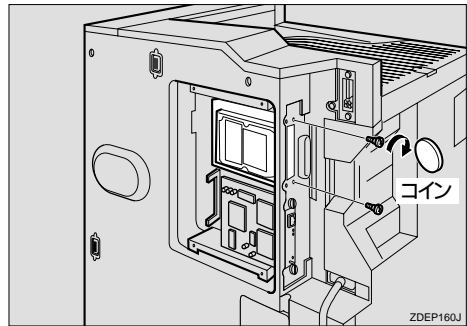
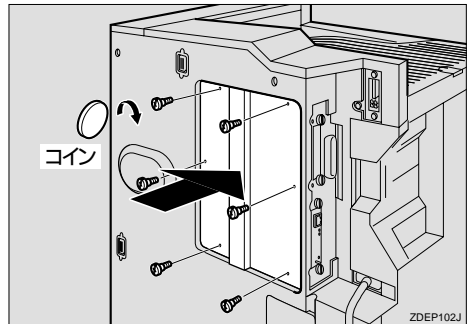
1 本機の電源を切ります。

2 コインなどを使ってねじ６本を外し、カバーを取り外します。

補足

- ❒ 取り外したねじはとカバーは手順6で使用します。

3 コインなどを使ってねじ２本を外し、拡張HDD取り付け部のカバーを取り外します。

補足

- ❒ 取り外したねじは手順 5 で使用します。カバーは使用しません。

4 コネクター部分を合わせ、カチッと音がするまで拡張HDDを差し込みます。

5 手順3で外したねじ２本を締め、拡張HDD取り付け部と拡張HDDを固定します。

6 手順2のカバーを取り付け、コインなどを使ってねじ６本を締めます。

補足

- ❒ 拡張HDDが正しく取り付けられたかどうかを確認するには、**【用紙/テスト】**キーを押したあと、**【▲】【▼】**キーを押します。「HDDユーティリティー」が表示されれば、正しく取り付けられています。

拡張HDDをフォーマットする

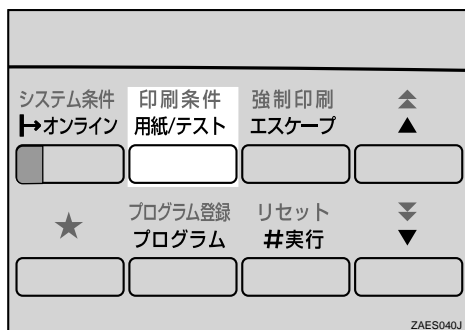
拡張ＨＤＤをフォーマットする必要のある場合は、操作パネルで実行します。新しい拡張HDDを取り付けた場合は、電源を入れたときに自動的にフォーマットされるので、この操作は必要ありません。

重要

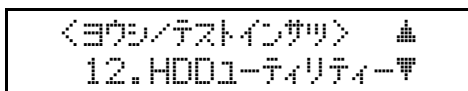
❒ HDDフォーマットを実行すると、拡張HDDに登録されているデータはすべて消去されますので十分確認してから実行してください。

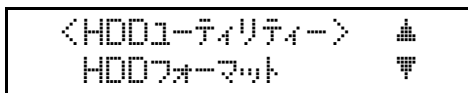
補足

❒ 拡張HDDに登録されている内容はディレクトリリストで確認することができます。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】キーを押して「HDDユーティリティー」を表示させ、【実行】キーを押します。**

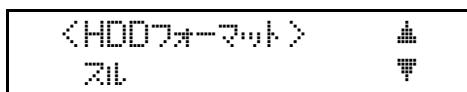
<ヨウシ/テストインサツ>
12.HDDユーティリティー

3 **【▼】キーを押して「HDDフォーマット」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<HDDユーティリティー>
HDDフォーマット

補足

❒ ここで「ディレクトリリスト」を表示させて**【実行】**キーを押すと、拡張HDD内に登録されている内容を確認することができます。

4 **【▼】キーを押して「スル」を表示させ、【実行】キーを押します。**

補足

❒ フォーマットを中止する場合は、「シナイ」を表示させて**【実行】**キーを押します。

拡張HDDのフォーマットがはじまります。フォーマットが終了すると「フォーマットOK！」と表示されたあとシステムがリセットされ、通常の画面に戻ります。

トナーをセットする

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周囲には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠注意

- トナー等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナー、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

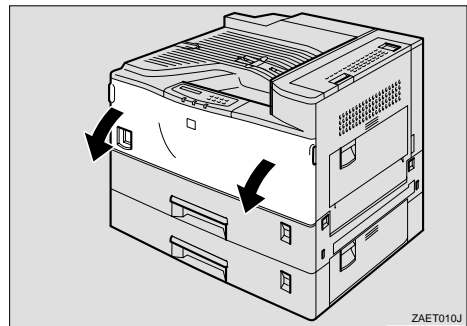
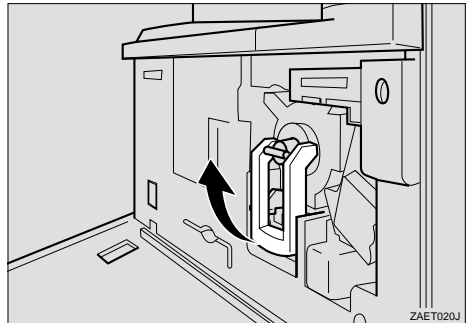
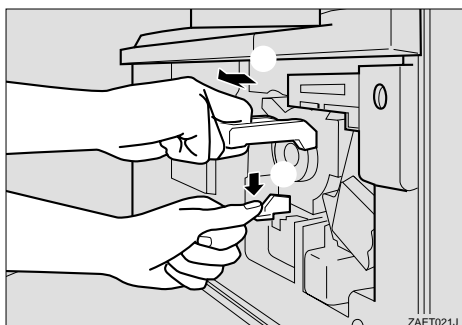
補足

❒ トナーの印刷可能ページ数は、目安として約10,000ページです。この印刷可能ページ数はA4▯5%チャートを印刷した場合の目安で、実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

1 前カバーを開けます。

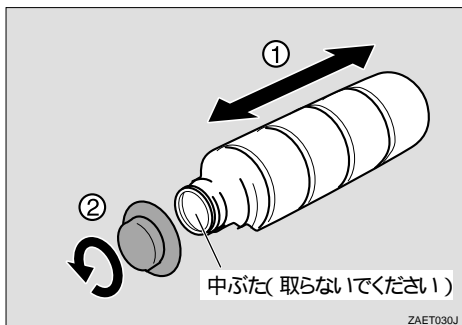
2 緑色のレバーを上げます。

1

1

3 **緑色のストッパーを下げながら、緑色のレバーを持ってトナーホルダーを少し引き出します。**

4 **ストッパーから手をはなして、トナーホルダーをゆっくりといっぱいに引き出します。**

重要

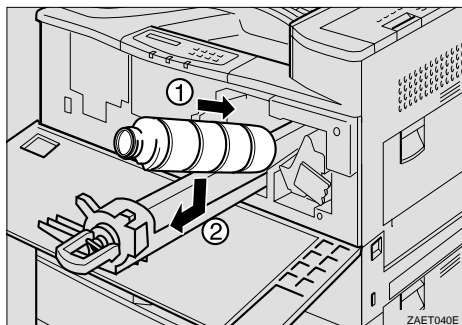
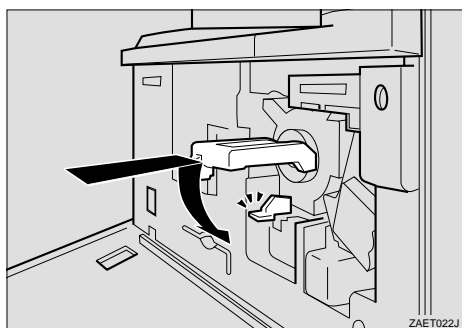
- ❒ トナーホルダーを引き出すときにストッパーを押し続けていると、ホルダーが落下する恐れがあります。

5 **トナーボトルを前後に５～６回振ってから（①）、黒いキャップを取り外します（②）。**

重要

- ❒ トナーボトルの中ぶたは取り外さないでください。

補足

- ❒ キャップを取り外したあとは、トナーがこぼれやすくなっています。トナーを振ったり衝撃を与えないようにしてください。

6 **トナーボトルを奥側からトナーホルダーに載せ（①）、手前に倒します（②）。**

7 **カチッと音がするまで押しこみ、緑色のレバーを下ろします。**

8 **前カバーを閉めます。**

> ご使用後のトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

用紙をセットする

ここでは用紙を給紙トレイにセットします。用紙をセットしないと、この章で行うセットアップは正常に終了しません。

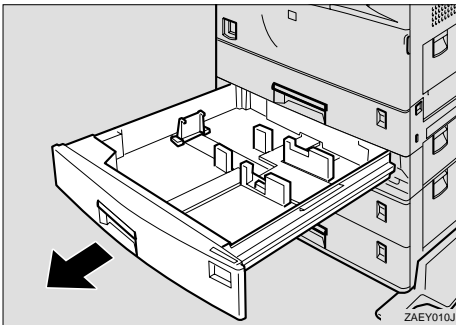
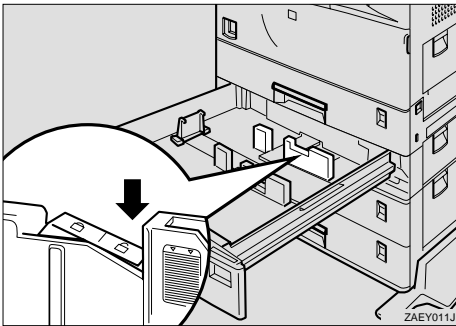
補足

❒ セットできる用紙については＜取り扱い編＞「用紙の種類とサイズ」を参照してください。

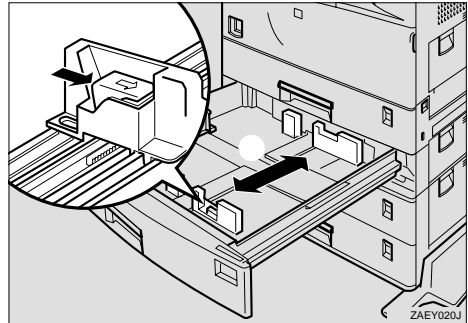
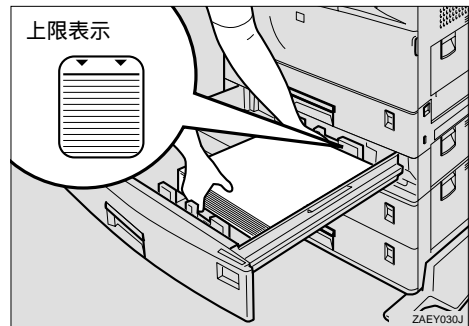
給紙トレイに用紙をセットする

重要

❒ セットした用紙サイズとセット方向に、用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルが合っていないと、機械内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。

1 **給紙トレイをいっぱいに引き出します。**

2 **サイドフェンスの固定レバーを解除します。**

重要

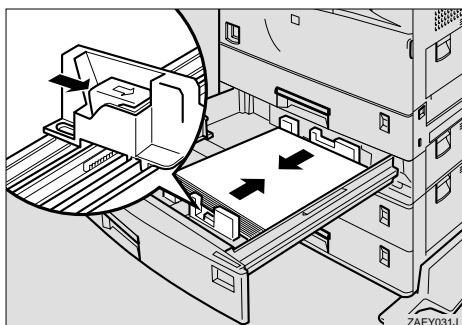
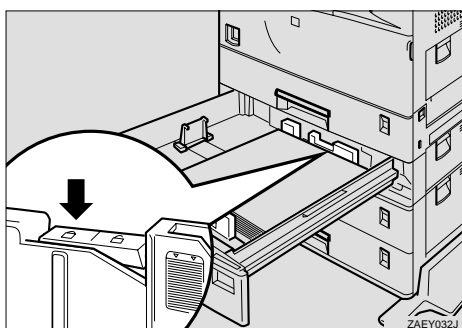
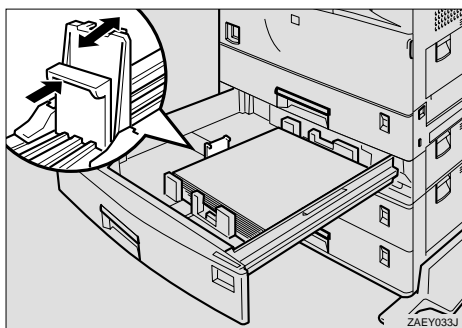
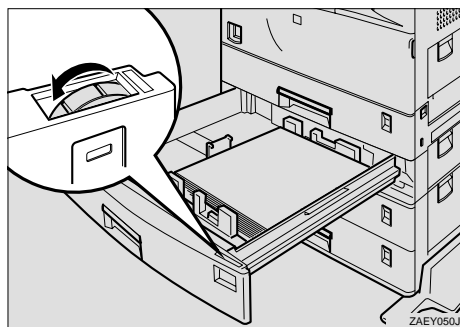
❒ サイドフェンスの固定レバーは必ず解除してください。解除しないでサイドフェンスを広げると破損することがあります。

3 **サイドフェンスの解除レバーを押さえながら、サイドフェンスを広げます。**

4 **用紙を揃えてセットします。**

重要

❒ セットする用紙の量は、トレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。

補足

❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

5 **サイドフェンスの解除レバーを押さえながらサイドフェンスをセットする用紙サイズに合わせます。**

6 **サイドフェンスの固定レバーをロックします。**

7 **エンドフェンスの解除レバーを押さえながら、エンドフェンスをセットした用紙の後端に軽く接するように合わせます。**

8 **用紙サイズダイヤルをセットした用紙のサイズと方向に合わせます。**

重要

- ❒ A4、B5の用紙は、▯と▭にセットできます。用紙のセット方向が合っていないと、機械内部を汚したり、紙づまりの原因になります。
- ❒ 海外向けのサイズまたはサイズ表示にないサイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせた後、操作パネルで用紙サイズを設定します。設定方法は、＜取り扱い編＞「海外向けサイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。

補足

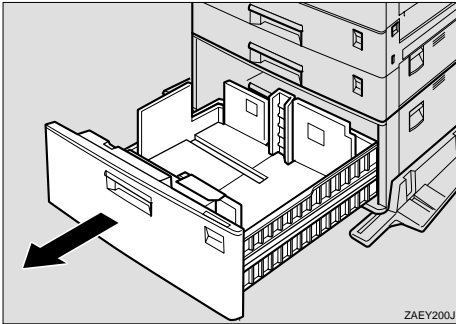
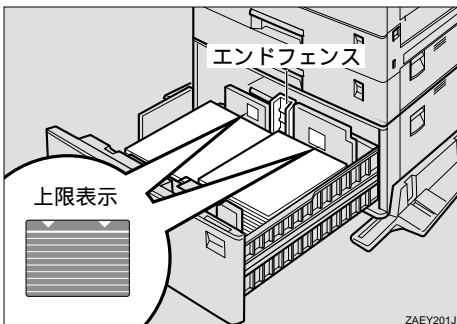
- ❒ トレイ２には、不定形サイズの用紙やはがきなどの厚紙をセットすることができます。
- ❒ 不定形サイズの用紙をセットしたときは、必ず操作パネルおよびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。操作方法は＜取り扱い編＞「トレイ２に不定形サイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。
- ❒ 厚紙をセットしたときは、本体トレイ２の用紙サイズダイヤルのレバーを「厚紙モード」に切り替えます。操作方法は＜取り扱い編＞「トレイ２に不定形サイズの用紙をセットしたとき」の「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を参照してください。

9 **給紙トレイを本体の奥に突き当たるまで静かにセットします。**

2000枚給紙テーブル（オプション）に用紙をセットする

補足

- ❒ 左側には右側と同じサイズと方向の用紙をセットしてください。

1 **2000 枚給紙テーブルをいっぱいに引き出します。**

2 **用紙をそろえてセットします。**

重要

- ❒ 右の用紙は右側に寄せて、左の用紙は左側に寄せてください。
- ❒ 用紙の量が上限表示を超えないようにしてください。
- ❒ 右側の用紙をセットしたら、エンドフェンスがきちんとかかっていることを確認してください。
- ❒ Letter（8 1/2×11）の用紙をセットするときはサイドフェンスの位置を変更します。サイドフェンス位置の変更は販売担当者にご連絡ください。

補足

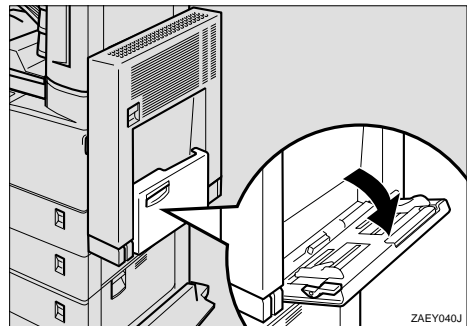
- ❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- ❒ カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。

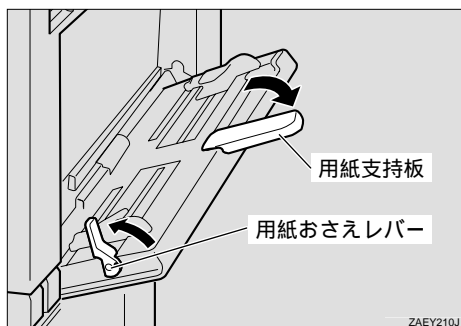
3 **給紙トレイを本体の奥に突き当たるまで静かにセットします。**

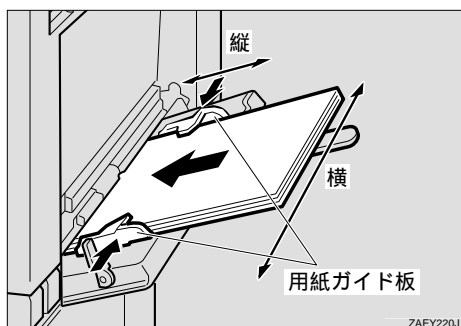
手差しトレイ（オプション）に用紙をセットする

補足

- ❒ 手差しトレイにセットできる用紙サイズは、縦148～1,260mm、横90～297mmです。
- ❒ 不定形サイズの用紙やはがきをセットするときは､必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。⇒ ＜取り扱い編＞「不定形サイズの用紙をセットしたとき」
- ❒ 厚紙、OHPフィルム、はがきなどをセットしたときは､必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで「厚紙モード」に設定してください。⇒＜取り扱い編＞「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」
- ❒ 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります｡用紙の量が用紙ガイド板にある上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。

1 **手差しトレイを開きます。**

2 用紙おさえレバーを上げます。

補足

- ❒ A4よりも大きなサイズの用紙をセットするときは、用紙支持板を引き出します。

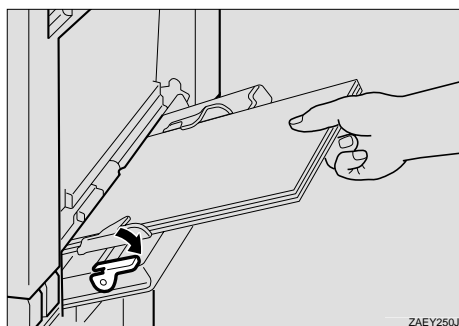
3 用紙の先端が突き当たるまで差し込み、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

重要

- ❒ 用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されたり、用紙がつまったりする原因になります。
- ❒ OHPフィルムは当社製品をお使いください。
- ❒ OHPフィルムは印刷する面が決まっているものがあります。確認してセットしてください。

補足

- ❒ セットする用紙の量は上限表示を超えないようにセットしてください。用紙を上限表示より上に積み重ねると、斜めに印刷されたり、用紙がつまったりする原因になります。
- ❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

4 用紙おさえレバーを下げます。

補足

- ❒ A4よりも大きなサイズの用紙は、後端を手で支えながらレバーを下げてください。
- ❒ レバーを下げないと用紙がつまることがあります。

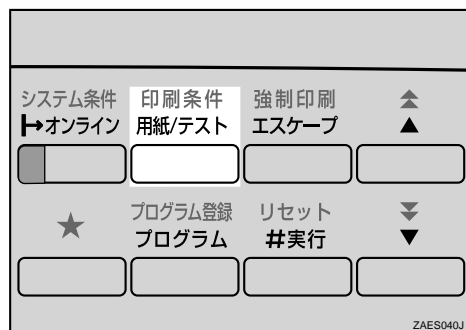
5 給紙トレイを手差しトレイに設定し、用紙サイズをセットした用紙のサイズに設定します。

重要

- ❒ 手差しトレイの設定は、操作パネルでの設定よりもプリンタードライバーでの設定が有効になります。

参照

プリンタードライバーでの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

不定形サイズの設定方法は、＜取り扱い編＞「不定形サイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。

❶ **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

❷ **【▲】【▼】キーを押して「キュウシトレイセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ヨウシ/テストインサツ>    ▲
 3.キュウシトレイセンタク  ▼
```

給紙トレイの選択画面が表示されます。

❸ **【▲】【▼】キーを押して「テサシ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<キュウシトレイセンタク>   ▲
 テサシ /A4□             ▼
```

給紙トレイが手差しトレイに設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

❹ **【▲】【▼】キーを押して「カミサイズセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ヨウシ/テストインサツ>    ▲
 5.カミサイズ センタク     ▼
```

用紙サイズの選択画面が表示されます。

補足

❒「＊」がついているのは、現在設定されているサイズです。

❺ **【▲】【▼】キーを押して、セットした用紙のサイズとセット方向の組み合わせを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<カミサイズ センタク>      ▲
 B5□                     ▼
```

用紙サイズが設定され、**【用紙 / テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

❻ **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPCL            テサシ
                B5□
```

設定した給紙トレイ、用紙サイズとセット方向が表示されていることを確認してください。

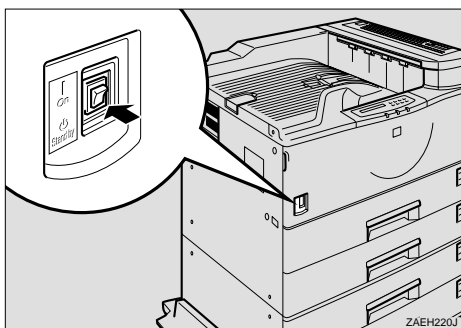
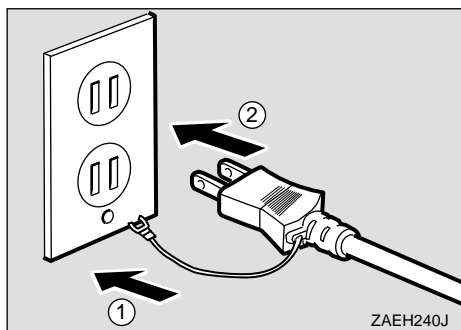
補足

❒ 厚紙、OHP フィルム、はがきなどをセットしたときは、操作パネルで「厚紙モード」に切り替えます。操作方法は、<取り扱い編>「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」 を参照してください。

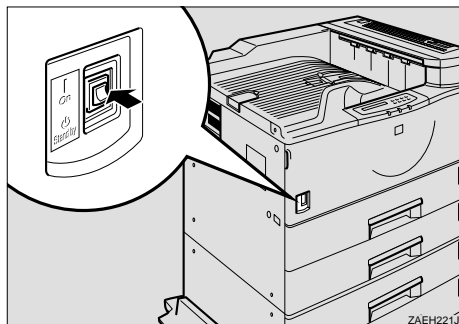
電源を入れる

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

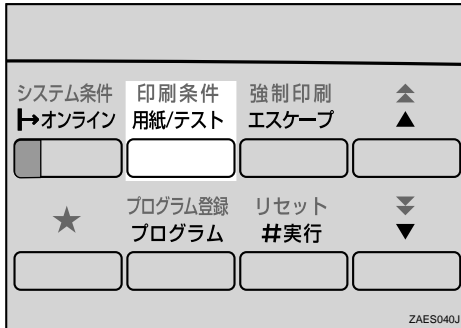
1 **電源がスイッチが「Stand by ○」側になっていることを確認します。**

2 **アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。**

重要

- ❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってからにしてください。

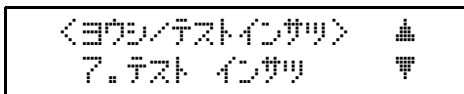
3 **電源スイッチを「On Ｉ」側にします。**

テスト印刷する

プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

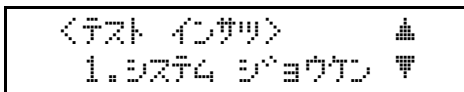
ここではステータスシートを印刷します。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】キーを押し、「テスト インサツ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ>
7.テスト インサツ

テスト印刷の選択画面が表示されます。

3 **「システムジョウケン」が表示されていることを確認し、【実行】キーを押します。**

<テスト インサツ>
1.システム ジョウケン

ステータスシートが印刷されます。

補足

❒ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は、使用説明書＜取り扱い編＞「メッセージが表示されたとき」を参照してエラーの対処をしてください。

プリンターを接続する

パラレル接続する

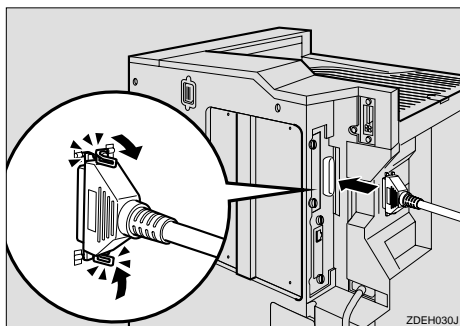
パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。ご使用のパソコンや目的に合わせてインターフェースケーブルを別途お買い求めください。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">DOS/V機、PC98-NXシリーズ</td><td>タイプ4Bケーブル※</td></tr>
<tr><td>タイプ4Sケーブル※</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PC9800シリーズ</td><td>パソコンにインターフェースケーブルが付属しているとき</td><td>付属品を使用する</td></tr>
<tr><td>インターフェースケーブルが付属していないとき</td><td>パソコン側がハーフピッチ36ピンのときはタイプ1Bケーブル※</td></tr>
<tr><td colspan="2">PC98ノート</td><td>NEC専用のインターフェースケーブル</td></tr>
</table>

補足

- ❒ ※印のついているインターフェースケーブルは、リコーで取り扱っているインターフェースケーブルです。詳しくは、使用説明書<取り扱い編>「関連商品一覧」を参照してください。
- ❒ インターフェースケーブルは、シールドケーブルをお使いください。シールドケーブル以外の物を使うと、電波障害をおこすことがあります。

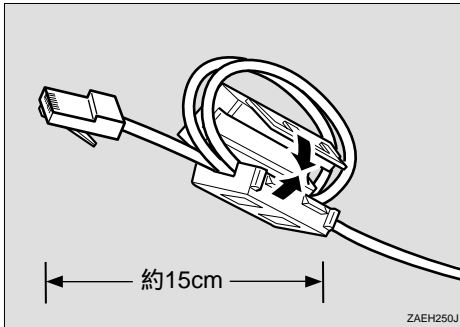
1 **本機とパソコンの電源を切ります。**

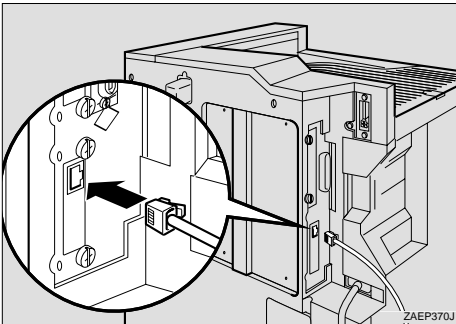
2 **本体左側面のインターフェースコネクターに接続したあと、両側の金具で固定します。**

3 **インターフェースケーブルのもう一方の側をパソコンのインターフェースコネクターに接続します。**

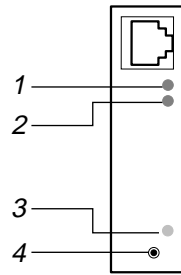
ネットワークに接続する

1 **本機の電源を切ります。**

2 **コネクターから約15cmのところに２重のリングを２つ作り、同梱の角型のコアを取り付けます。**

ZAEH250J

3 **プリンター本体左側面のコネクターにイーサネットケーブルを接続します。**

ZAEP370J

4 **イーサネットケーブルのもう一方の側をネットワークのHUB（ハブ）に接続します。**

スイッチの使い方とLEDの見かた

ZAEX010J

1. **ネットワークに正常に接続していると点灯します。**
2. **100BASE-TX動作時は点灯、10BASE-T動作時は消灯します。**
3. **イーサネットボードが正常に動作していると点灯します。**
4. **スイッチを２秒間押して離すとネットワークステータスシートが、５秒間押したままにするとシステムログ情報が印刷されます。**

補足

❒ 次の状態であることを確認して印刷してください。

- オンライン状態であること
- エミュレーションがRPDLに設定してあること
- システム条件の［エミュレーション検知］が「しない」に設定してあること

❒ ネットワークステータスシートとシステムログ情報は、操作パネルのテスト印刷で「NIBステータスリスト」「NIBシステムログ」を選択すると印刷することもできます。印刷方法については、P.43「テスト印刷する」を参照してください。

2. 印刷するための準備をする

ここではネットワークに接続されたプリンターを印刷できるように設定したり、ソフトウェアをインストールする手順について説明します。

ネットワーク環境でご使用の場合は、P.48「ネットワーク環境の設定をする」の内容にしたがって設定してからP.52「ソフトウェアをインストールする」の操作を行ってください。

パソコンをパラレル接続してご使用の場合は、P.52「ソフトウェアをインストールする」の操作を行ってください。

パラレル接続でご使用の場合

1 ソフトウェアをインストールする

CD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

⇒ P.52「ソフトウェアをインストールする」

ネットワーク環境でご使用の場合

1 ネットワーク環境の設定をする

プリンターの操作パネルを使ってネットワークに関する設定をします。

⇒ P.48「ネットワーク環境の設定をする」

2 ソフトウェアをインストールする

CD-ROMからプリンタードライバーや各種のユーティリティをインストールします。

⇒ P.52「ソフトウェアをインストールする」

ネットワーク環境の設定をする

プリンターの操作パネルを使ってネットワークに関する設定をします。

TCP/IPをご利用できる環境でIPアドレスに関する設定をする場合は、「Ridoc Manager for Admin」も使用できます。

2

操作パネルを使った設定

使用するネットワーク環境に応じて必要な項目を設定します。

設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
36.IPアドレス	011.022.033.044
37.サブネットマスク	000.000.000.000
38.デフォルトゲートウェイアドレス	000.000.000.000
39.アクセスコントロールアドレス	000.000.000.000
40.アクセスコントロールマスク	000.000.000.000
41.ネットワークブート	NONE
42.フレームタイプ (NetWare)	自動選択
43.有効プロトコル	ALL ACTIVE（すべて有効）
44.イーサネット速度 [*1]	自動設定

[*1] **必要に応じて設定してください。詳しくは、<取り扱い編>「システム条件を設定する」を参照してください。**

1 **【★】キーを押しながら【システム条件】キーを押します。**

2 **使用するプロトコルの組み合わせを選択します。**

選択できる組み合わせは次のとおりです。

表示	有効なプロトコル [*1]			
	TCP	NW	AT	NB
ALL ACTIVE（工場出荷時）	○	○	○	○
NO ACTIVE				
TCP/IP ONLY	○			
NetWare ONLY		○		
TCP & NetWare	○	○		
ATalk ONLY			○	
TCP & ATalk	○		○	
NetW & ATalk		○	○	
TCP& NW& ATK	○	○	○	
NetBEUI ONLY				○
TCP & NetBEUI	○			○
NetW& NetBEUI		○		○
TCP & NW & NB	○	○		○
ATalk&NetBEUI			○	○
TCP& ATK& NB	○		○	○
NW & ATK & NB		○	○	○

[*1] **有効なプロトコルは、左から順に**TCP/IP, NetWare, AppleTalk, NetBEUI**です。**

制限

❒ AppleTalkを使用するにはオプションのR-PS2を含んだモジュールが必要です。

補足

❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことを推奨します。

❒ NetWare5JのピュアIP 環境でお使いになる場合は、TCP/IP プロトコルを有効にしてください。

❶「43.ユウコウプロトコル」が表示されるまで【▲】キーまたは【▼】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 43.ﾕｳｺｳﾌﾟﾛﾄｺﾙ  ▼
```

❷【実行】キーを押します。

現在の設定が表示されます。

```
<43.ﾕｳｺｳﾌﾟﾛﾄｺﾙ>▲
*ALL ACTIVE     ▼
```

❸【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用するプロトコルの組み合わせを表示させます。

❹【実行】キーを押します。

このあとの操作は使用するプロトコルによって異なります。以下の手順で操作してください。

TCP/IP	3▶4▶5▶7▶8▶9▶10
NetWare	6▶7▶8▶9▶10
NetBEUI	7▶8▶9▶10
AppleTalk	7▶8▶9▶10

3 TCP/IP **プロトコルを使用するときは、プリンターに割り当てる** IP **アドレスを設定します。**

補足

❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

❒ TCP/IPプロトコルを使用する場合、IPアドレスは必ず設定してください。

❶「36.IP アドレス」が表示されるまで【▲】キーまたは【▼】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 36.IPｱﾄﾞﾚｽ     ▼
```

❷【実行】キーを押します。

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

```
 011.022.033.044
             ---
```

❸【▲】キーまたは【▼】キーを押して、値を変更するフィールドにカーソル（－－－）を移動します。

❹【実行】キーを押します。

```
011.022.033.044
011
```

❺【▲】キーまたは【▼】キーを押して、2行目の数字を設定する値に合わせます。

```
011.022.033.044
092
```

補足

❒【★】キーを押しながら【▲】【▼】キーを押すと、値が10ずつ変わります。

❻【実行】キーを押します。

フィールドに値が入力されます。

```
192.022.033.044
---
```

❼手順 ❸ ～ ❻ を繰り返してすべてのフィールドに値を入力します。

```
192.168.015.016
            ---
```

❽【エスケープ】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 36.IPｱﾄﾞﾚｽ     ▼
```

4 TCP/IP **プロトコルを使用するときは、同様の手順で「**37.**サブネットマスク」～「**40.**アクセスコントロールマスク」までの項目を設定します。**

2

5 **TCP/IPプロトコルを使用するときは、ネットワークブートの設定をします。**

コンピュータ側からアドレスを設定する方式を次の中から選択します。

表示	有効な方式 *1			
	AR	RA	BO	DH
ARP+PING	○			
ARP & RARP	○	○		
ARP & BOOTP	○		○	
ARP&RARP& BOOT	○	○	○	
NONE (工場出荷値)				
RARP+TFTP		○		
BOOTP			○	
RARP & BOOTP		○	○	
DHCP				○

*1 **有効な方式は、左から順にARP+PING, RARP+TFTP, BOOTP, DHCPです。**

補足

❒ 操作パネルからアドレスを設定するときは､「NONE」を選択してご使用ください。

❒ RARP+TFTP、BOOTP、DHCPを使用するときはサーバの設定が必要です。

参照

DHCPを使用するときはイーサネットボードの使用説明書の「DHCPを使用する場合」を参照してください。

❶ **【▼】キーを押して「41. ネットワークブート」を表示させます。**

```
<システム ショウケン>   ▲
 41.ネットワークブート  ▼
```

❷ **【実行】キーを押します。**

現在の設定が表示されます。

```
<41.ネットワークブート>▲
*NONE                ▼
```

❸ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用する方式を表示させます。**

❹ **【実行】キーを押します。**

6 **NetWareを使用するときはフレームタイプを選択します。**

選択できるフレームタイプは次のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET802.3
- ETHERNET802.2
- ETHERNET2
- ETHERNETSNAP

補足

❒「自動選択」は起動時最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。そのときは使用したいフレームタイプを選択してください。

❶ **「42. フレームタイプNW」が表示されるまで【▲】キーまたは【▼】キーを押します。**

```
<システム ショウケン>   ▲
 42.フレームタイプ NW  ▼
```

❷ **【実行】キーを押します。**

現在の設定が表示されます。

```
<42.フレームタイプ NW>▲
*ジドウセンタク         ▼
```

❸ **【▲】キーまたは【▼】キーを押して、使用するフレームタイプを表示させます。**

❹ **【実行】キーを押します。**

7 **【エスケープ】キーを押します。**

次の画面が一瞬表示されたあと､通常の画面が表示されます。

```
リセットゴ
セッテイガ ハンエイサレマス
```

```
RPDL          トレイ1
              A4[ ]
```

8【オンライン】キーを押します。

オンラインランプが消えて、プリンターがオフライン状態になります。

9【★】キー押しながら【リセット】キーを押します。

電源を入れ直した状態になり、設定した項目が有効になります。

10 ステータスシートまたはネットワークステータスシートを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

印刷方法については、P.43「テスト印刷する」または、P.45「ネットワークに接続する」を参照してください。

アドレスについて

❖ **サブネットマスク**
IPアドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ **デフォルトゲートウェイアドレス**
別のネットワークのワークステーションとのやり取り(印刷や情報の取得)を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルータのアドレスです。

補足

- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。

アクセスコントロールについて

アクセスコントロールアドレスとアクセスコントロールマスクは、印刷できるワークステーションをIPアドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。

補足

- アクセスコントロールアドレスをマスクした結果と、印刷しようとしているワークステーションのアドレスをマスクした結果が一致した場合にアクセスを許可します。
- たとえばアクセスコントロールアドレスを192.168.15.16に設定した場合、アクセス可能なワークステーションのアドレスはマスク値によって次のようになります(xxxはどんな数値でもかまいません)。

アクセス コントロールマスク	アクセス可能なアドレス
0. 0. 0. 0	XXX.XXX.XXX.XXX
255. 0. 0. 0	192.XXX.XXX.XXX
255.255. 0. 0	192.168.XXX.XXX
255.255.255. 0	192.168. 15.XXX
255.255.255.255	192.168. 15. 16

ソフトウェアをインストールする

本書はWindowsの機能と操作方法について十分ご理解いただいていることを前提に説明しています。Windowsの機能および操作方法の詳細については、Windowsの説明書を参照してください。

オートランプログラムについて

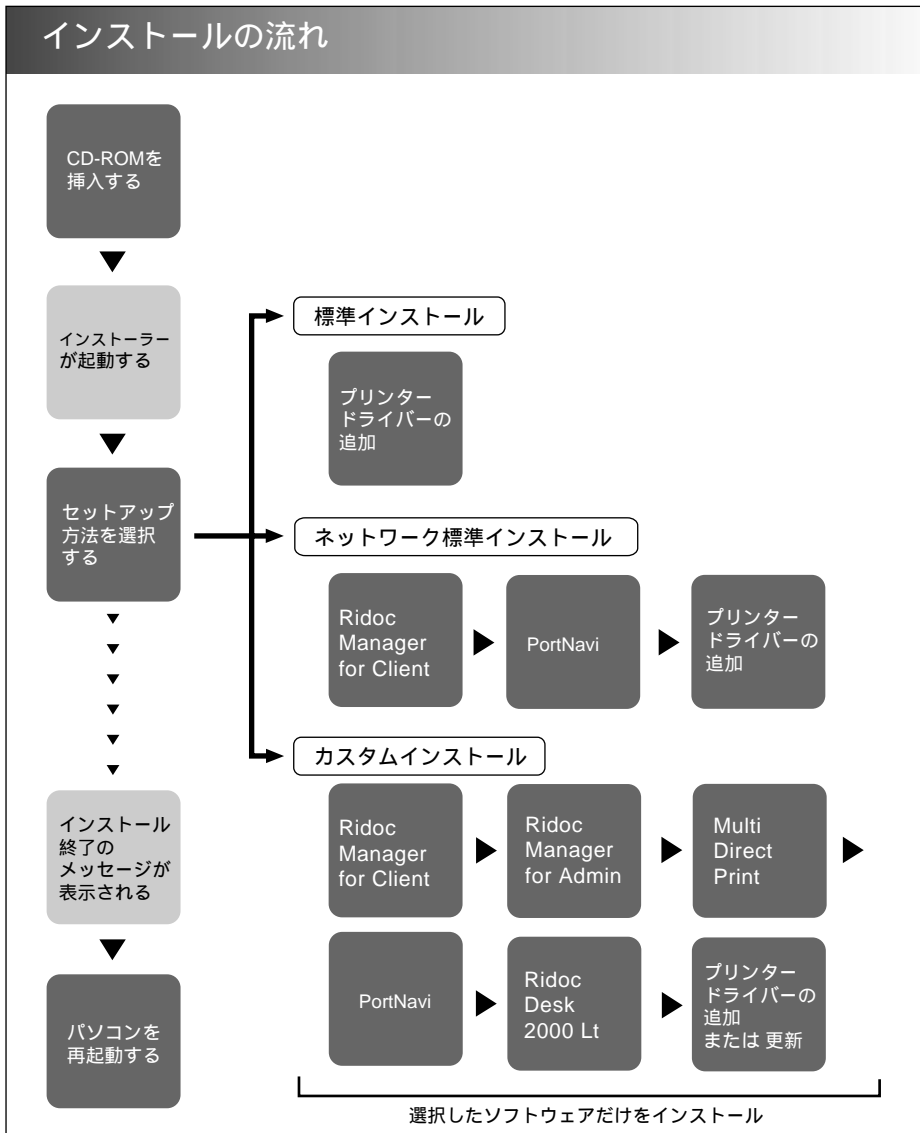
Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0上でCD-ROMをパソコンに挿入すると、オートランプログラムとしてプリンタードライバーやユーティリティなどの各種ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します。

補足

- ❒ OSの設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「INSTTOOL.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ❒ オートランを無効にしたいときは、**Shift**キーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで**Shift**キーを押したままにします。
- ❒ インストールの途中で［キャンセル］を押すと、以降のすべてのソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。

制限

- ❒ Windows 2000、Windows NT4.0でインストーラーを使用するときはAdministratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ Windows NT3.51では、オートランプログラムでのインストールはできません。Windows NT3.51へのインストールの詳細は、P.72 「Windows NT3.51へのインストール」を参照してください。

オートランプログラムでのインストールの流れは次のとおりです。

参照

標準インストール⇒ P.56

ネットワーク標準インストール⇒ P.58

カスタムインストール⇒ P.62

パラレルで接続する方は標準インストールを、TCP/IPプロトコルを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷する方はネットワーク標準インストールを選択します。NetBEUI プロトコルやIPP（Internet Printing Protocol）を使ってネットワーク接続する方や管理者の方は、カスタムインストールを選択します。

2

オートランプログラムでインストールできるソフトウェアは次のとおりです。

❖ プリンタードライバー

Windowsから印刷する場合に必要なソフトウェアです。印刷を始める前に必ずインストールしてください。はじめてプリンタードライバーをインストールするときはプリンタードライバーの追加を行います。プリンタードライバーの更新はプリンタードライバーをバージョンアップするときに選択します。

重要

- ❒ 市販のアプリケーションで個別の指定が必要な場合があります。また、プリンタードライバーの設定と異なる設定になることがあります。それぞれのアプリケーションの説明書を参照してください。

参照

プリンタードライバーの動作環境については、P.75「プリンタードライバー」を参照してください。

❖ Ridoc Manager for Client

ネットワークプリンターとしてお使いになるときに便利なユーティリティです。詳しくは P.76「Ridoc Manager」、またはRidoc Managerのヘルプを参照してください。

❖ Ridoc Manager for Admin

管理者の方が使用するネットワークユーティリティです。詳しくはP.76 「Ridoc Manager」、またはRidoc Managerのヘルプを参照してください。

❖ Multi Direct Print

NetBEUIプロトコルやIPPを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷するためのユーティリティです。詳しくはイーサネットボードの使用説明書およびMulti Direct Printのヘルプを参照してください。

❖ PortNavi

TCP/IPプロトコルを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷するためのユーティリティです。詳しくはイーサネットボードの使用説明書、またはPortNaviのヘルプを参照してください。

❖ Ridoc Desk 2000 Lt

Ridoc Desk 2000 Ltは、アプリケーションソフトで作成したファイル、スキャナで入力した画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷するためのソフトウェアです。

Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0へのインストール

Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0へのインストールは、オートランプログラムを使用して行います。ここでは、Windows 98の画面例を使用して説明しています。Windows 95、Windows 2000、Windows NT4.0でも基本的な操作は同じです。

CD-ROMに「README」ファイルが入っています。「README」ファイルにはプリンタードライバーの情報や、いろいろなアプリケーションに対する注意事項などが記載されています。インストールの前に内容を確認してください。「README」ファイルは次のディレクトリに格納されています。

- Windows 95/98

  DRIVERS\WIN95\DISK1

- Windows 2000

  DRIVERS\WIN2000\DISK1

- Windows NT4.0

  DRIVERS\WINNT40\DISK1

制限

❒ すべてのアプリケーションを終了させてからインストールを始めてください。

重要

❒ バージョンの異なるプリンタードライバーを混在させることはできません。これまでリコーのプリンターをご使用の場合、インストールの途中で、「更新されます」というメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、表示されているプリンタードライバーがバージョンアップされますので「はい」を選択してください。

補足

❒ 本機とパソコンをパラレルインターフェースで接続している場合、本機の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、プラグアンドプレイ機能を働かせてください。プラグアンドプレイ機能が働いていると、Windows 95/98、Windows 2000起動時に［新しいソフトウェア］または、［デバイスドライバウィザード］が表示されます。表示される画面は、OSやシステムのバージョンによって異なります。この画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。

❖ 印刷ログコード

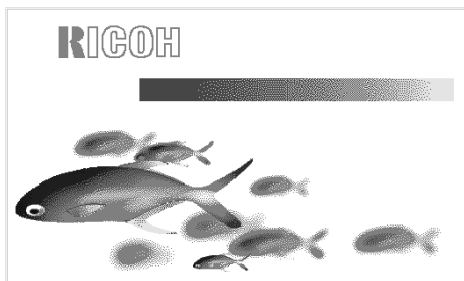
プリンタードライバーに印刷ログコードと呼ばれる最大８桁の番号を設定することができます。印刷ログコードを設定しておくと、コードごとの印刷枚数をプリンターが記録し、確認することができます。

印刷ログコードを使って、印刷枚数を管理するときは、管理者の方がパソコンごとに設定する印刷ログコードをあらかじめ決めておき、プリンタードライバーをインストールする前に通知しておいてください。

標準インストール

［標準インストール］では、RPDLプリンタードライバーがインストールされます。

1 Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0**が起動していることを確認し、本機に付属の**CD-ROM**をパソコンの**CD-ROM**ドライブにセットします。**

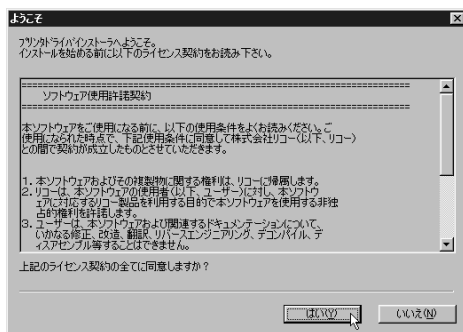
インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

3 ［標準インストール］を選択し、［次へ］をクリックします。

参照

［ネットワーク標準インストール］を選択した場合の操作方法については、P.58「ネットワーク標準インストール」を参照してください。

［カスタムインストール］を選択した場合は、インストールするソフトウェアを選択できます。操作方法についてはP.62「カスタムインストール」を参照してください。

4 ライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。

5 「RICOH IPSiO NX810**」をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンタ名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。**

［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.68「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」
    - 「CD-ROMにドライバが存在しません。」
- ❒ Windows NT4.0をインストール中に次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.69「Windows NT4.0へプリンタードライバーでインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「このバージョンの OS では実行できません。」

6 使用するポート名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。

補足

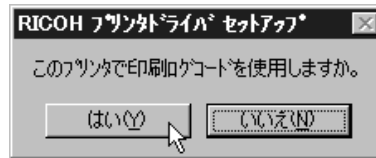
- ❒ ネットワーク環境でご使用の場合は、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT1」を選んでください。プリンタードライバーをインストールした後、ご使用の環境に合わせてポートを変更してください。その他の環境で印刷する場合は、イーサネットボードの使用説明書を参照してください。

7 インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

補足

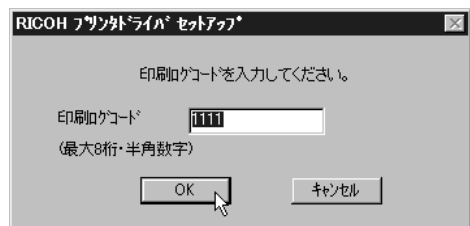
- ❒ Windows 2000をご使用の場合、インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

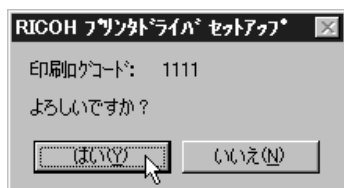
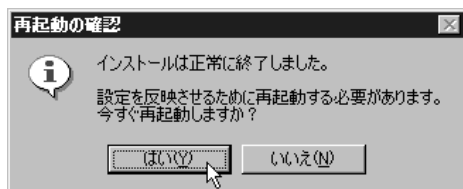
8 Windows 95/98をご使用で印刷ログコードを使用する場合は、［はい］をクリックします。

Windows 2000、Windows NT4.0の方は手順9に進みます。

補足

- ❒ Windows 2000、Windows NT4.0をご使用の場合、インストール後、プリンタープロパティで印刷ログコードを設定できます。
- ❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。また印刷ログはRidoc Managerでも確認できます。
- ❒ ［いいえ］を押したとき、印刷ログコードを後から設定して使用することはできません。印刷ログコードを使うときは、プリンタードライバーをインストールし直してください。

❶ 印刷ログコードを入力し、［OK］をクリックします。

補足

- ❒ 入力できるのは、半角数字最大８桁です。英字や記号はご使用になれません。

❷ **確認のメッセージが表示されますので、よければ［はい］をクリックします。**

9 インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、Windowsを再起動します。

10 再起動後、オプションのセットアップを行います。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。ご使用の環境によっては、必要ない場合もあります。双方向通信の詳細については、P.71「双方向通信が働く条件」を参照してください。プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

補足

❒ PortNaviまたはMulti Direct Printを使い、ネットワーク経由のTCP/IPで印刷される方は、ここでオプションのセットアップをする必要はありません。

参照

Windows 95/98でご使用の方はP.65「Windows 95/98のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows 2000でご使用の方はP.67「Windows 2000、Windows NT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows NT4.0でご使用の方はP.67「Windows 2000、Windows NT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

重要

❒ 他社のプリンターと併用してご使用になる場合は、プリンタードライバーの初期設定が必要な場合があります。詳しくは、P.70「印刷領域を拡張する」を参照してください。

ネットワーク標準インストール

操作の前に

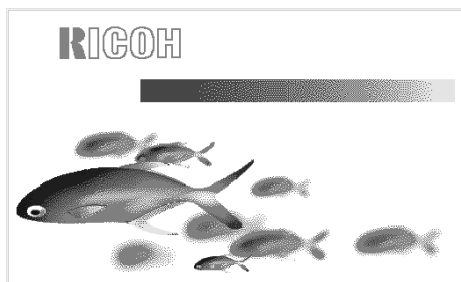
TCP/IPプロトコルを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷するときに選択します。

［ネットワーク標準インストール］では、Ridoc Manager for Client、PortNavi、RPDLプリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ Multi Direct Printで使用していた印刷ポートがある場合、PortNaviに引き継がれます。

1 Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

3 **［ネットワーク標準インストール］を選択し、［次へ］をクリックします。**

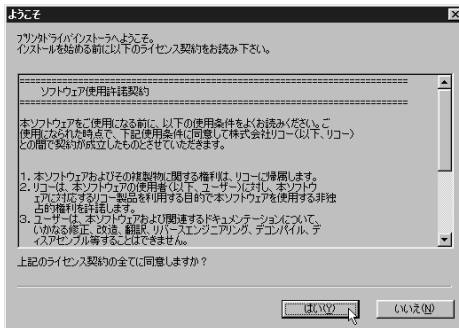
参照

［標準インストール］を選択した場合の操作方法については、P.56「標準インストール」を参照してください。

［カスタムインストール］を選択した場合は、インストールするソフトウェアを選択できます。操作方法についてはP.62「カスタムインストール」を参照してください。

4 Ridoc Manager for Client**のインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。**

5 PortNavi **のインストーラーが起動します。メッセージに従って操作してください。**

6 **プリンタードライバーのライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。**

7 **「**RICOH IPSiO NX810**」をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンタ名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。**

［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.68「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

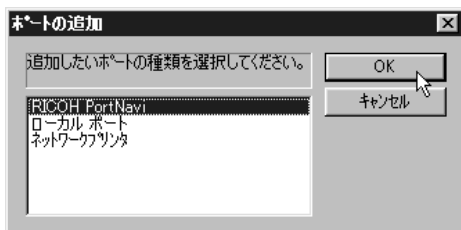
- 「更新対象のドライバより、CD-ROMのドライバのバージョンが古いです。」
- 「CD-ROMにドライバが存在しません。」

❒ Windows NT4.0をインストール中に次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.69「Windows NT4.0へプリンタードライバーでインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「このバージョンの OS では実行できません。」

8 **［追加］をクリックします。**

［ポートの追加］ダイアログが表示されます。

9 「RICOH PortNavi」を選択し、［OK］をクリックします。

次の画面が表示され、プリンターが検索されます。

10 ご使用のプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

追加したポートが［ポート名］に「IPアドレス@モデル名」の形式で表示されます。

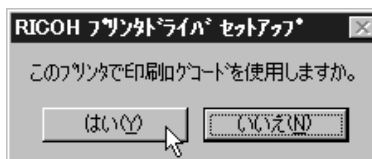
11 手順 10 で選択したポートが反転表示されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

12 インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

補足

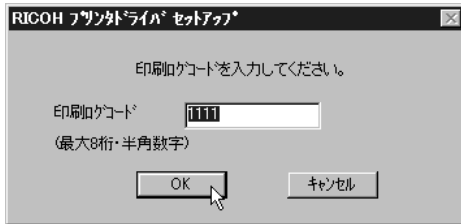
- ❒ Windows 2000をご使用の場合、インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

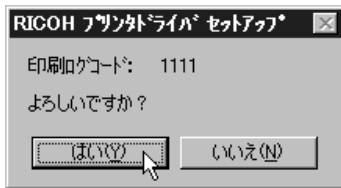
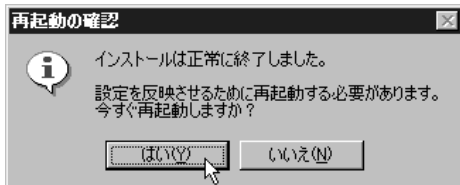
13 Windows 95/98をご使用で印刷ログコードを使用する場合は、［はい］をクリックします。

Windows 2000、Windows NT4.0の方は手順14に進みます。

補足

- ❒ Windows 2000、Windows NT4.0をご使用の場合、インストール後、プリンタープロパティで印刷ログコードを設定できます。
- ❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。また印刷ログはRidoc Managerでも確認できます。
- ❒ ［いいえ］を押したとき、印刷ログコードを後から設定して使用することはできません。印刷ログコードを使うときは、プリンタードライバーをインストールし直してください。

❶ **印刷ログコードを入力し、［OK］をクリックします。**

補足

❒ 入力できるのは、半角数字最大８桁です。英字や記号はご使用になれません。

❷ **確認のメッセージが表示されますので、よければ［はい］をクリックします。**

14 インストール終了のメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、Windowsを再起動します。

15 再起動後、オプションのセットアップを行います。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。ご使用の環境によっては、必要ない場合もあります。双方向通信の詳細については、P.71「双方向通信が働く条件」プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

補足

❒ PortNaviまたはMulti Direct Printを使い、ネットワーク経由のTCP/IPで印刷される方は、ここでオプションのセットアップをする必要はありません。

参照

Windows 95/98でご使用の方はP.65「Windows 95/98のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows 2000でご使用の方はP.67「Windows 2000、Windows NT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows NT4.0でご使用の方はP.67「Windows 2000、Windows NT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

重要

❒ 他社のプリンターと併用してご使用になる場合は、プリンタードライバーの初期設定が必要な場合があります。詳しくは、P.70「印刷領域を拡張する」を参照してください。

カスタムインストール

［カスタムインストール］では、インストールするソフトウェアを選択することができます。必要なソフトウェアを選択してインストールしてください。

1 **Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0が起動していることを確認し、本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。

2 **［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。**

3 **［カスタムインストール］をクリックし、［次へ］をクリックします。**

［ソフトウェアの選択］ダイアログが表示されます。

参照

［標準インストール］を選択した場合の操作方法は、P.56「標準インストール」を参照してください。

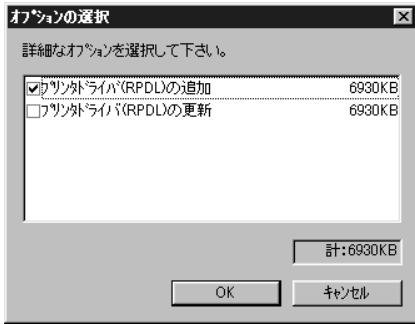
［ネットワーク標準インストール］を選択した場合の操作方法については P.58「ネットワーク標準インストール」を参照してください。

4 **インストールするソフトウェアを選択します。**

❶ **インストールするソフトウェアをクリックして反転表示させ、［詳細］をクリックします。**

❷ **ユーティリティを選択したときは、インストールするユーティリティをクリックして反転表示させ、✓印を付けます。プリンタードライバーのインストールを選択したときは、インストール方法をクリックして反転表示させ、✓印を付けます。**

❖ **［ユーティリティ］を選択したとき**

❖ ［プリンタドライバ］を選択したとき

はじめて本機のプリンタードライバーをインストールするときは［プリンタドライバの追加］を、これまでに、本機のプリンタードライバーを使用していたときは［プリンタドライバの更新］を選択してください。

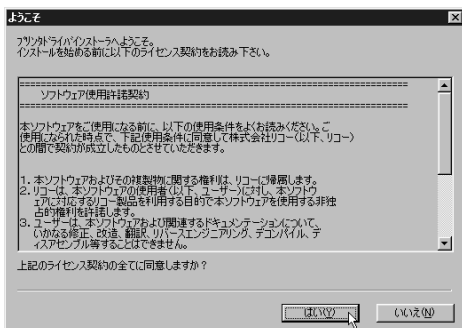
❸［OK］をクリックします。

5 **インストールしたいソフトウェアをすべて選択したら、［次へ］をクリックします。**

6 **手順 4 でユーティリティのインストールを選択したときは、選択したソフトウェアのインストーラーが順に起動します。メッセージに従って操作してください。**

ユーティリティのインストールを選択しなかったときは手順7へ進みます。

7 **手順 4 でプリンタードライバーのインストールを選択したときは、選択したソフトウェアのインストールがすべて終了すると、ライセンス契約が表示されます。すべての項目をお読みください。ライセンス契約に同意する場合は、［はい］をクリックします。**

プリンタードライバーのインストールを選択しなかったときは手順11へ進みます。

8 **［プリンタドライバの追加］を選択したときは、次の手順でプリンタードライバーをインストールします。**

❶「RICOH IPSiO NX810」をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。プリンタ名を変更するときは、［プリンタ名］ボックスで修正します。

［ポートの選択］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.68「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「更新対象のドライバより、CD-ROM のドライバのバージョンが古いです。」
- 「CD-ROM にドライバが存在しません。」

❒ Windows NT4.0をインストール中に次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.69「Windows NT4.0へプリンタードライバーでインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「このバージョンのOSでは実行できません。」

❷ **使用するポート名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。**

補足

- ❒ ネットワーク環境でご使用の場合は、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT1」を選んでください。プリンタードライバーをインストールした後、ご使用の環境に合わせてポートを変更してください。PortNaviを使って印刷する場合は、P.78「PortNavi」を参照してください。その他のネットワーク環境で印刷する場合は、イーサネットボードの使用説明書を参照してください。

❸ **インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

9 ［プリンタドライバの更新］を選択したときは、次の手順でプリンタードライバーをインストールします。

❶ **インストールされているプリンタードライバーが表示されるので、更新するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、［次へ］をクリックします。**

更新するプリンタードライバーと同じ種類のプリンタードライバーがインストールされているとメッセージが表示されます。［はい］をクリックし、すべてのプリンタードライバーを更新してください。

❷ **インストール条件を確認し、［完了］をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

補足

- ❒ Windows 2000をご使用の場合、インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合、［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

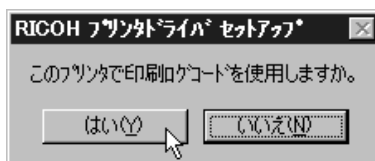
10 Windows 95/98をご使用で印刷ログコードを使用する場合は、［はい］をクリックします。

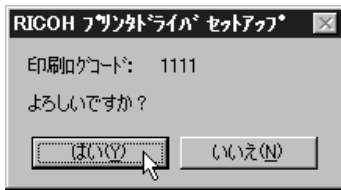
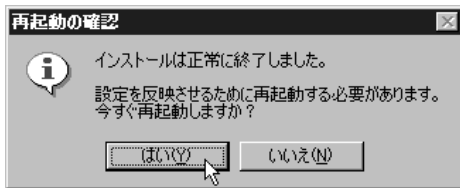
Windows 2000、Windows NT4.0の方は手順11へ進みます。

補足

- ❒ Windows 2000、Windows NT4.0をご使用の場合、インストール後、プリンタープロパティで印刷ログコードを設定できます。
- ❒ 印刷ログコードを設定しておくと、各パソコンごとの印刷枚数を印刷ログで確認できます。また印刷ログはRidoc Managerでも確認できます。
- ❒ ［いいえ］を押したとき、印刷ログコードを後から設定して使用することはできません。印刷ログコードを使うときは、プリンタードライバーをインストールし直してください。

❶ **印刷ログコードを入力し、［OK］をクリックします。**

補足

- ❒ 入力できるのは、半角数字最大８桁です。英字、記号は使用できません。

❷ **確認のメッセージが表示されますので、よければ[はい]をクリックします。**

11 インストール終了のメッセージが表示されます。[はい] をクリックし、Windowsを再起動します。

12 プリンタードライバーをインストールしたときは、再起動後、オプションのセットアップを行います。

これでインストールは終了です。

オプションのセットアップは双方向通信が働いていないときに必要な操作です。ご使用の環境によっては、必要ない場合もあります。双方向通信の詳細については、P.71「双方向通信が働く条件」を参照してください。プリンタードライバー各画面の説明や、いろいろな印刷のしかたについては、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

補足

- ❒ PortNaviまたはMulti Direct Printを使い、ネットワーク経由のTCP/IP で印刷される方は、ここでオプションのセットアップをする必要はありません。

参照

Windows 95/98でご使用の方はP.65「Windows 95/98のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows 2000でご使用の方はP.67「Windows 2000、Windows NT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

Windows NT4.0でご使用の方はP.67「Windows 2000、Windows NT4.0のオプションセットアップ」を参照して、設定してください。

重要

- ❒ 他社のプリンターと併用してご使用になる場合は、プリンタードライバーの初期設定が必要な場合があります。詳しくは、P.70「印刷領域を拡張する」を参照してください。

Windows 95/98のオプションセットアップ

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.71「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2

B 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

C [基本] タブをクリックし、[オプション構成] をクリックします。

[オプション構成] ダイアログが表示されます。

補足

❒ [オプション構成] ダイアログが表示されないときは、双方向通信が働いています。このときオプションのセットアップをする必要はありません。

D [オプション構成] タブの [オプション選択] ボックスで、接続したオプションをクリックして反転表示させ、[追加→] をクリックします。

E [給紙トレイの用紙サイズ・セット方向] でそれぞれのトレイにセットした用紙サイズ・方向を正しく設定してください。

重要

❒ 給紙トレイの用紙サイズダイヤルも忘れずに合わせてください。

F [OK] をクリックし、ダイアログを閉じます。

G [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows 2000、Windows NT4.0の オプションセットアップ

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。ここでは、Windows 2000の画面例を使用しています。Windows NT4.0でも基本的な操作は同じです。

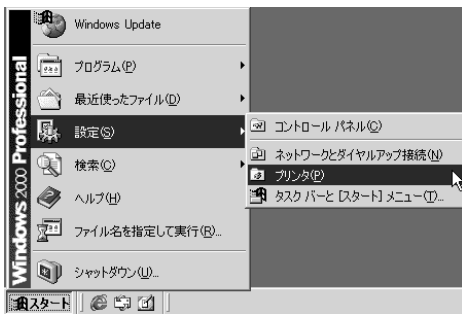
制限

❒ Windows 2000でご使用の場合、［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❒ Windows NT4.0でご使用の場合、プリンタフォルダでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

双方向通信の詳細についてはP.71「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 ［オプション構成］タブをクリックします。

補足

❒［オプション構成］タブが表示されていないときは、双方向通信が働いています。このときオプションのセットアップをする必要はありません。

2

2

4 **［オプション構成］タブの［オプション選択］ボックスで、接続したオプションをクリックして反転表示させ、［追加→］をクリックします。**

5 **［給紙トレイの用紙サイズ・セット方向］でそれぞれのトレイにセットした用紙サイズ・方向を正しく設定してください。**

重要

❒ 給紙トレイの用紙サイズダイヤルも忘れずに合わせてください。

6 **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、［プリンタの追加］でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ プリンタの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥WIN95、WIN2000またはWINNT40になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

Windows NT4.0へプリンタードライバーでインストール中にメッセージが表示されたとき

上記メッセージは、Windows NT4.0日本語版サービスパック４の環境で、オートランプログラムを使って本製品のプリンタードライバーをインストールした場合、更新対象のプリンタードライバーがすでにインストールされているときに表示されます。

インストールを中止してから、すでにインストールされているプリンタードライバーのバージョンを確認し、バージョンが「V3.X.X」のプリンタードライバーをすべて削除してください。そのあと、必要なプリンタードライバーを［プリンタの追加］でインストールしてください。ユーティリティはCD-ROMのオートランプログラムを使って最後にインストールします。

❖ オートランプログラムを中止する

① 上記メッセージで［OK］をクリックします。
② ［プリンタの選択］ウィンドウで［キャンセル］をクリックします。
③ 「インストールは完了していません。」と表示されたら［キャンセル］をクリックします。
④ 「一部のインストールが中断されました。」と表示されたら［OK］をクリックします。

❖ プリンタードライバーのバージョンを確認する

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
② プリンタードライバーのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。
③ ［その他］タブの［バージョン情報］をクリックします。
④ バージョン情報を確認します。

❖ プリンタードライバーを削除する

補足

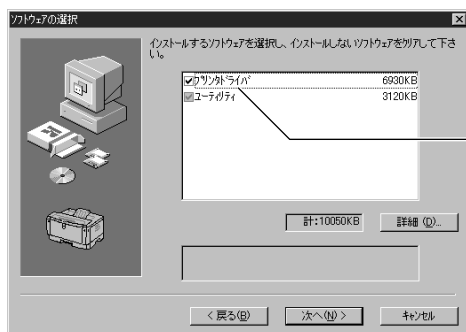
❒ Windows NTのCD-ROMで提供されたプリンタードライバーは削除不要です。プリンターのプロパティを開いて、［全般］タブの［ドライバー］ボックス内の名称末尾に「RPDL」と表示されていれば、そのプリンタードライバーはWindows NTのCD-ROMからインストールされたものです。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
② 削除するプリンタードライバーのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［削除］をクリックします。
③ Windows NTを再起動します。

❖ プリンタードライバーをインストールする

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
③ プリンタの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥WINNT40になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

❖ ユーティリティをインストールする

ユーティリティはCD-ROMのオートランプログラムでインストールします。ただし、［カスタムインストール］を使い、プリンタードライバーを選択しない設定でインストールしてください。

印刷領域を拡張する

他社のプリンターで印刷すると１ページに入っていた文書が、本機で印刷すると１ページに入らないことがあります。これは印刷領域の違いに理由があります。プリンターのプロパティで［印刷領域を拡張する］に✓印を付けると、印刷領域を広げて印刷しますので、ほとんどの場合この現象を防ぐことができます。

補足

- ❒ この設定は［標準に戻す］ボタンをクリックしても変わりません。
- ❒ ✓印を付けると、行の最後の文字が次の行に送られるなど、変更前とレイアウトが異なることがあります。通常は✓印を付けない状態でお使いください。

① ［プリンタ］ウィンドウからご使用のプリンターのプロパティを表示します。

- Windows 95/98の場合は、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
- Windows 2000の場合は、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。
- Windows NT4.0の場合は、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

② ［その他］タブをクリックします。

③ ［印刷領域を拡張する］をチェックして✓印を付けます。

④ 印字領域設定の確認画面が表示されるので［OK］をクリックします。

⑤ ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0で働く機能です。Windows NT3.51では働きません。
- 双方向通信機能が働いていると、Windows 95/98の場合は［基本］タブで［オプション構成］をクリックするとオプション構成画面が表示されずに、自動的にプリンターの状態や情報を取得します。Windows 2000、Windows NT4.0の場合は、プリンターのプロパティ画面に［オプション構成］タブが表示されません。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ パラレルインターフェースで接続されているとき

- パソコンが双方向通信に対応している
- インターフェースケーブルが双方向通信に対応している
- プリンターの標準パラレルインターフェースとパソコンのパラレルコネクタで接続されている
- Windows 95/98の場合、［詳細］タブの［スプールの設定］で、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されている
- Windows 2000、Windows NT4.0の場合、［ポート］タブで、［双方向サポートを有効にする］が選択されていて、［プリンタプールを有効にする］が選択されていない

❖ ネットワークで接続されているとき

- PortNavi、または Multi Direct Print を使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- Windows 95/98の場合、［詳細］タブの［スプールの設定］で、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されている
- Windows 2000、Windows NT4.0の場合、［ポート］タブで、［双方向サポートを有効にする］が選択されていて、［プリンタプールを有効にする］が選択されていない
- 本機に同梱されているCD-ROM内のRidoc Manager for Clientがインストールされている

Windows NT3.51へのインストール

プリンタードライバーのインストール方法を説明します。ネットワーク関連ソフトウェアについてはイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

CD-ROMに「README」ファイルが入っています。「README」ファイルには説明書の印刷後に追加されたプリンタードライバーの情報や、いろいろなアプリケーションに対する注意事項などが記載されています。インストールの前に内容を確認してください。「README」ファイルは次のディレクトリに格納されています。

DRIVERS\WINNT351\DISK1

重要

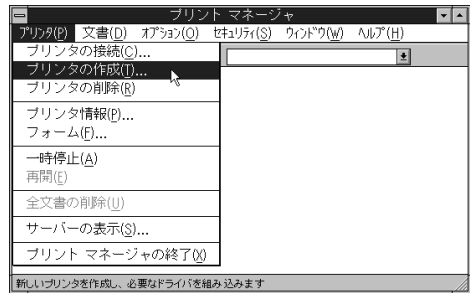
- ❒ バージョンの異なるプリンタードライバーを混在させることはできません。バージョンアップする場合は、古いプリンタードライバーを削除してから、新しいプリンタードライバーをインストールしてください。プリンタードライバーの削除のしかたについては、「README」ファイルを参照してください。

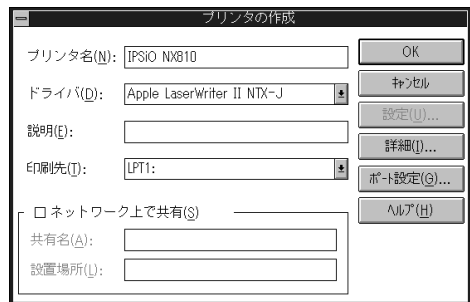
制限

- ❒ プリンタードライバーをインストールするには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。インストールするときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 プログラムマネージャの[メイン]グループから［コントロールパネル］を開き、［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

プリントマネージャが起動します。

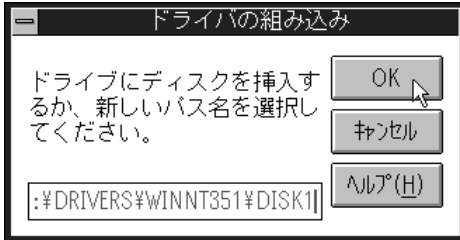
2 ［プリンタ］メニューの［プリンタの作成］をクリックします。

［プリンタの作成］ダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ名］ボックスに、プリンターの名前を入力します。

この名前はWindows NT上で使用される名前です。

4 ［ドライバ］ボックスのドロップダウンメニューから「その他」を選択します。

5 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

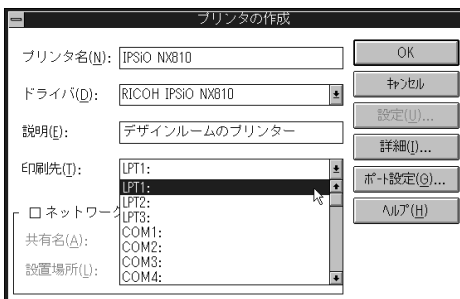
6 ［ドライバの組み込み］ダイアログのボックスにCD-ROMのドライブ名とコロン(:)に続けて¥DRIVERS¥WINNT351¥DISK1と半角で入力し、[OK]をクリックします。

CD-ROMのドライブ名がDのときは、D:¥DRIVERS¥WINNT351¥DISK1と入力します。

［ドライバの選択］ダイアログが表示されます。

7 ［プリンタドライバ］ボックスで、印刷するプリンターの機種名をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

8 コピーが終わったら、［説明］ボックスにプリンターの説明を入力します。

9 ［印刷先］ボックスのドロップダウンメニューから使用するポートを選択します。

10 [OK]をクリックします。

プリンターが作成され、プリンタードライバーを設定するダイアログが表示されます。

11 [OK]をクリックし、ダイアログを閉じます。

CD-ROM収録ソフトウェアについて

ファイル一覧

CD-ROM DRIVE	INSTTOOL.EXE Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0で動作する、プリンタードライバーとユーティリティのインストーラーです。			
	DRIVERS（⇒ P.75）	WIN95		Windows 95/98用プリンタードライバー
		WIN2000		Windows 2000用プリンタードライバー
		WINNT40		Windows NT4.0用プリンタードライバー
		WINNT351		Windows NT3.51用プリンタードライバー
	NETWORK	RIDOCMAN（⇒ P.76）	ADMIN	Ridoc Manager for Admin
			CLIENT	Ridoc Manager for Client
		TCPIP（⇒ P.78）	PORTNAVI	PortNavi
		MDP（⇒ P.77）		Multi Direct Print
	UTILITY	RIDOCDSK（⇒ P.79）		Ridoc Desk 2000 Lt
		CODE（⇒ P.84）		文字コード印刷ツール
	FONTS（⇒ P.80）	WIN95NT		TrueTypeWorld Windows 95版
		WIN31		TrueTypeWorld Windows3.1版
	HELP（⇒ P.85）	W2K95NT4		Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0用ヘルプ
		WINNT351		Windows NT3.51用ヘルプ
		DOS		DOSヘルプ
		WSMHLP	JA	WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプ（日）index.html
			EN	WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプ（英）index.html

プリンタードライバー

Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。IPSiO NX810で印刷するためには、必ずインストールする必要があります。

参照

詳しい使い方についてはヘルプを参照してください。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98用プリンタードライバー

  DRIVERS\WIN95

  補足

  ❒ Windows 98用のプリンタードライバーは、Windows 95用と共通です。

- Windows 2000用プリンタードライバー

  DRIVERS\WIN2000

- Windows NT4.0用プリンタードライバー

  DRIVERS\WINNT40

- Windows NT3.51用プリンタードライバー

  DRIVERS\WINNT351

❖ プリンタードライバーの動作環境

- 対象OS
  Microsoft Windows 95 日本語版
  Microsoft Windows 98 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Server 3.51 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 3.51 日本語版

  制限

  ❒ Windows NTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- ディスプレイ解像度
  640×480ドット以上

ネットワーク関連ソフトウェア

Ridoc Manager

Ridoc ManagerはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。Ridoc Manager for AdminとRidoc Manager for Clientの２種類があります。

for AdminではIPアドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。for Clientは、各クライアントがWindowsの［プリンタ］ウィンドウに作成したプリンターの状態を監視します。

一般的にネットワーク管理者の方がfor Adminをお使いになり、印刷を行う各パソコンにfor Clientをインストールされることをお勧めします。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Admin版

  NETWORK\RIDOCMAN\ADMIN

- Client版

  NETWORK\RIDOCMAN\CLIENT

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98 日本語版	Windows 95/98に付属のTCP/IPプロトコル、 Windows 95/98に付属のIPX/SPXプロトコル、 NetWare Client32 for Windows 95、Intranetware Client for Windows 95、Novell Client for Windows 95
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル、 Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート、 Windows 2000に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT4.0 日本語版	Windows NT4.0に付属のTCP/IPプロトコル、 Windows NT4.0に付属のIPX/SPXトランスポート、 NetWare Client for Windows NT、Intranetware Client for Windows NT、Novell Client for Windows NT

❖ どんなことができるのか？

Ridoc Manager for Adminでは以下の操作ができます。

- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定を変更できます。
- プリンターで印刷したページ数を印刷ログコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- 印刷ログコードを使った各パソコンごとの印刷枚数を確認できます。

Ridoc Manager for Clientでは以下の操作ができます。

- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 複数台のプリンターを使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- ユーザー IDを使ったジョブの履歴を確認できます。

参照

Ridoc Managerの使い方については、ヘルプを参照してください。

Multi Direct Print

Multi Direct Printは、Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0からPeer-to-Peerネットワークで印刷したり、インターネットを経由してIPPに対応したネットワークプリンターに印刷するためのユーティリティです。プリントサーバーを作らなくても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\MDP

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98 日本語版	Windows 95/98に付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98に付属のNetBEUIプロトコル
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のNetBEUIプロトコル
Microsoft Windows NT4.0 日本語版	Windows NT4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows N4.0に付属のNetBEUIプロトコル

参照

Multi Direct Printの使い方については、イーサネットボードに付属の使用説明書を参照してください。

PortNavi

PortNaviは、TCP/IPプロトコルを使ったネットワーク環境でプリンターを効率的に活用するためのソフトウェアです。複数のネットワークプリンターを使用している環境でお使いいただくと、特に効果的です。NetBEUIプロトコルおよびIPPを使って印刷するときは、Multi Direct Printをお使いください。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

\NETWORK\PORTNAVI

❖ どんなことができるのか？

- プリントサーバーがなくても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
- 並行／代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、［印刷通知］ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98 日本語版	Windows 95/98に付属のTCP/IPプロトコル
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル
Microsoft Windows NT4.0 日本語版（Service Pack 3以上）	Windows NT4.0に付属のTCP/IPプロトコル

制限

- ❒ PortNaviを使用するには、Ridoc Manager for Clientがインストールされている必要があります。
- ❒ 代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（たとえば増設トレイなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ❒ 代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- ❒ 代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- ❒ 試し印刷および機密印刷をする場合、代行印刷／並行印刷はできません。

参照

PortNaviの詳しい使い方については、イーサネットボードの使用説明書およびヘルプを参照してください。

Ridoc Desk 2000 Lt

Ridoc Desk 2000 Ltは、アプリケーションソフトで作成したファイル、スキャナで入力した画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷することができます。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストールと同時にJob Binder機能もインストールされます。Job Binder機能では、複数のアプリケーションで作成したファイルやRidoc Desk 2000 Lt文書を、パソコンに印刷データとして保存しておき、１つの文書として印刷したり、保存した印刷データを後でステープル、両面などの指示をかけて印刷することができます。また、印刷する順番を後で変更することもできます。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストール画面からJob Binder機能のみをインストールすることも可能です。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY¥RIDOCDSK

❖ Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境

- 対象OS
  Windows 95 OSR2 以上 日本語版
  Windows 98、98SE 日本語版
  Windows 2000 Professional 日本語版
  Windows 2000 Server 日本語版
  Windows 2000 AdvancedServer 日本語版
  Windows NT Workstation 4.0 日本語版 サービスパック5以上
  Windows NT Server 4.0 日本語版 サービスパック5以上
- CPU
  Pentium 133MHz以上
- メモリー容量
  48Mバイト以上
- ハードディスク容量
  安定して動作するためには200Mバイト以上（保存する文書データ容量にによって異なる）の空き容量が必要
  インストール先に50Mバイト以上の空き容量が必要
- ディスプレイ解像度
  800×600ドット 64,000色以上推奨

TrueTypeWorld

2

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- TrueTypeWorld Windows 95版

  FONTS\WIN95NT

- TrueTypeWorld Windows 3.1版

  FONTS\WIN31

参照

インストール対象のOSについてはP.82「インストール対応図」を参照してください。

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が収録されています。

羽衣Ｌ

愛の広がる美しいフォント

羽衣Ｅ

愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体

愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流

愛の広がる美しいフォント

行刻

愛の広がる美しいフォント

半古印体

愛の広がる美しいフォント

行書体

愛の広がる美しいフォント

祥南行書体

愛の広がる美しいフォント

正楷書体

愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体

愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体

愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体

愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体

愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体

愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3

愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9

愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4

愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8

愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3

愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9

愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～（注）	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～＆HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～＆HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～＆HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～＆HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～＆HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W3	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W9	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W4	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W8	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W3	(財)日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W9	(財)日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

（注）Windows 3.1版を収録しています。

基本仕様

7,602文字（MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む）

フォーマット/Microsoft Windows 95日本語版準拠のTrueType Collection形式（拡張子: ttc）

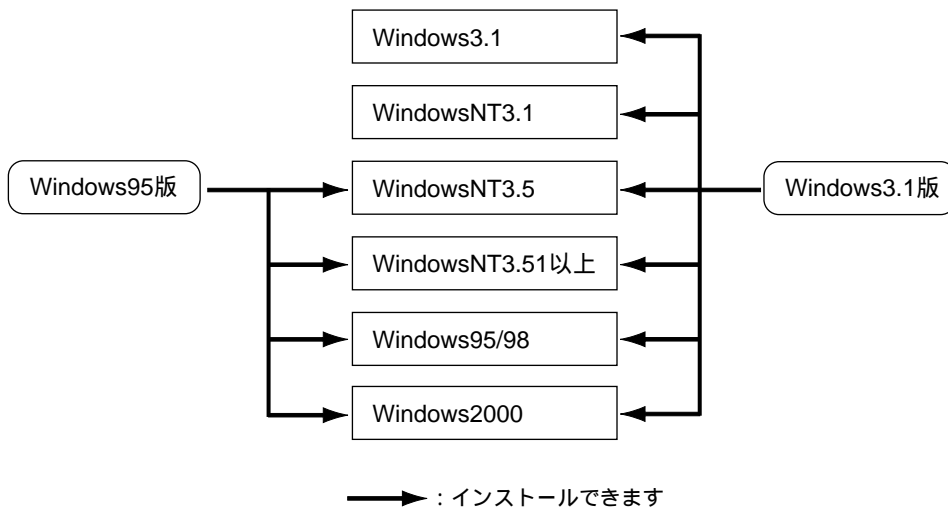
補足

- ❒ Windows 95以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- ❒ フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG～」	固定ピッチ情報のみ格納

- ❒ 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。
- ❒ 羽衣L、羽衣E、高橋隷書体は、Windows 3.1版のフォーマットで収録されています。

❖ インストール対応図

Windows 95版は、以下のOSに対してインストールすることができます。

Windowsへのインストール

ここでは、操作例としてWindows 95/98へのインストール方法を説明しています。その他のOSへのインストール方法については、OSに付属の説明書を参照してください。

制限

- ❒ インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- ❒ リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。
- ❒ Windows 3.1版フォント（羽衣L、羽衣E、高橋隷書体）はWindows 95/98での和文フォントのプロポーショナル機能はサポートしていません。

補足

- ❒ Windowsをインストールしたハードディスクに、１書体当たり約2～8MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- ❒ インストール後、フォント名は、Windows 95版フォントでは３つの書体名「HG～」、「HGP～」、「HGS～」と表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中では、フォント名が「HG行書体＆HGP行書体＆HGS行書体」と表示されます。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。**

3 **［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。**

4 **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

5 **［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。**

6 **［フォルダ］ボックスで、［Fonts］→［Win95nt］の順にフォルダを開きます。**

7 **［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。**

8 **［フォントフォルダにフォントをコピーする］に✓印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。**

これでインストールは終了です。

文字コード印刷ツール

プリンターの内蔵フォントを印刷するソフトウェアが収録されています。

❖ **ファイル格納場所**

付属のCD-ROM内の次のディレクトリに格納されています。

UTILITY\CODE

以下の条件でソフトウェアを実行してください。

- パソコンとプリンターをパラレルインターフェースケーブルで接続します。
- A4の用紙をセットします。

印刷する

1. **CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**
2. **Windows上から実行するときは、MS-DOS画面に切り替えます。**
3. **CD-ROMの「UTILITY¥CODE」ディレクトリに移動します。**
4. **印刷される内容に応じて、以下のようにコマンド入力します。**

D:\UTILITY\CODE>　FONTMAP　コマンド

コマンド	印刷される内容	印刷枚数
RPDL	RPDL半角、RPDL JIS全角、RPDL JIS 全角特殊、新旧JIS比較	25枚
R98	R16R98半角、R98R16全角特殊	4枚
R16	R16R98半角、R98R16全角特殊	4枚
SJIS	RPDL SJIS全角	19枚
KAIGAI	国別指定 半角	5枚

コマンド入力後はパソコンのディスプレイに＊印で進行状況を表します。

＊が80個になると転送が終了します。

ヘルプ

プリンターの使い方がヘルプファイル形式で収められています。お使いの環境に応じてお読みください。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダ内に格納されています。

補足

❒ Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0でお使いの方は、プリンタードライバーをインストールすると、ここに収められているファイルと同じ内容のヘルプファイルがインストールされます。インストールされたヘルプファイルはプリンタードライバーから呼び出すことができます。

- Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0ヘルプファイル

  HELP\W2K95NT4

- Windows NT3.51用ヘルプファイル

  HELP\WINNT351

- DOS用ヘルプファイル

  HELP\DOS

補足

❒ ヘルプファイルをパソコンのハードディスクにコピーするときは、フォルダ内にある2つのファイル（拡張子が.HLPと.CNTのファイル）を同じフォルダにコピーしてください。

- WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプ

補足

❒ WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプがHTML形式で格納されています。

❒ Internet Explorer3.02以上またはNetscape Navigator3.0以上のWWWブラウザを起動し、「index.html」を開いてお読みください。

- 日本語版

  HELP\WSMHLP\JA

- 英語版

  HELP\WSMHLP\EN

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。